

LabelMark™

LABELING SOFTWARE



第1章	はじめに	5
第1節	新しい機能	6
第2章	ユーザオプション	7
第3章	ラベルマークの以前のバージョン	8
第4章	クイックスタートガイド	9
第5章	テクニカルサポート	9
第6章	プリンタドライバのインストール	9
第7章	プリンタドライバのインストール: エラー!ブックマークが定義されています。	
第8章	テキスト編集画面	12
第9章	表示	13
第10章	メニューバー	14
第11章	標準ツールバー	15
第12章	その他のツールバー	15
第13章	ユーザオプションの変更	16
第14章	ユーザオプションの変更:	16
第15章	デフォルトパート番号の選択:	18
第16章	ラベルの新規作成	19
第17章	ラベルの新規作成: エラー!ブックマークが定義されていません。	
第18章	作成されたラベルを開く	21
第19章	作成されたラベルを開く: エラー!ブックマークが定義されていません。	
第20章	ラベルの保存	23
第21章	ラベルの保存:..... エラー!ブックマークが定義されていません。	
第22章	ラベルを閉じる	24
第23章	複数のラベルを開く	25
第24章	ラベルの切り替え	25
第25章	行編集画面の編集とレイアウト	26
第26章	レイアウトと編集のテクニック	28
第27章	フリーレイアウトと行編集	29
第28章	行編集	29
第29章	フリーレイアウト	29

第30章	フリーレイアウト用ツールバー	30
第31章	行編集とレイアウトコマンド	32
第32章	行編集モードのレイアウトと編集	33
第33章	フリーレイアウトモードの編集とレイアウト	34
第34章	テキストツールバー	36
第35章	テキストの作成	37
第36章	テキストの作成: エラー!ブックマークが定義されていません。	
第37章	オブジェクトの操作	38
第38章	オブジェクトの選択	38
第39章	オブジェクトサイズの変更	39
第40章	オブジェクトサイズの変更 エラー!ブックマークが定義されていません	
第41章	オブジェクトのカットとコピー	40
第42章	オブジェクトのカット: エラー!ブックマークが定義されていません。	
第43章	オブジェクトの削除	41
第44章	オブジェクトの削除: エラー!ブックマークが定義されていません。	
第45章	バーコードの操作	42
第46章	バーコードツールバー	42
第47章	グラフィックの操作	46
第48章	グラフィックツールバー	47
第49章	直線と矩形の操作	48
第50章	直線と矩形ツールバー	49
第51章	テンプレートの作成	51
第52章	テンプレートの作成: エラー!ブックマークが定義されていません。	
第53章	テンプレートの保存	52
第54章	テンプレートの保存 エラー!ブックマークが定義されていません。	
第55章	テンプレートの作成 エラー!ブックマークが定義されていません。	
第56章	テンプレートの作成:	54
第57章	カウンタ	56
第58章	カウンタ: エラー!ブックマークが定義されていません。	
第59章	拡張カウンタ	57
第60章	カウンタの編集	59
第61章	カウンタの種類	60

第 6 2 章	ワイヤマーカ	61
第 6 3 章	パッチパネルと 110 ブロックラベル	62
第 6 4 章	110 ブロック水平カウンタ	63
第 6 5 章	110 ブロック垂直カウンタ	63
第 6 6 章	全ラベル	64
第 6 7 章	全ラベル使用例	65
第 6 8 章	ラベルパートの変更	67
第 1 節	ラベルパートの変更	67
第 6 9 章	ラベルパートの変更:.....	69
第 7 0 章	ラベルパートの新規作成	71
第 7 1 章	カスタムパートリストの作成	72
第 7 2 章	カスタムパートリストの使用	74
第 7 3 章	印刷コマンドの使用	76
<u>第 7 4 章</u>	<u>印刷</u>	76
第 7 5 章	プリンタプロパティ	78
第 7 6 章	プリンタプロパティ:エラー! ブックマークが定義されていません。	
第 7 7 章	範囲の追加と削除	79
<u>第 7 8 章</u>	<u>ラベルをデフォルトプリンタに関連づける</u>	80
第 7 9 章	Terminal Block/ Continuous ラベルの印刷	81
第 8 0 章	Two Sided Sleeve ラベルの印刷	82
第 8 1 章	アスキーデータの読込	85
第 8 2 章	可変長テキストファイル	85
第 8 3 章	アスキーデータの読込:.....	86
第 8 4 章	データの読込手順	88
第 8 5 章	アスキーデータの読込:.....	88
第 8 6 章	ODBC データの読込	89
第 8 7 章	ODBC データベースを開く	90
第 8 8 章	ODBC データベースを開く:エラー! ブックマークが定義されていません	
第 8 9 章	抽出条件	94
第 9 0 章	新しいデータソースの作成	96
第 9 1 章	新しいデータソースの作成:エラー! ブックマークが定義されていません	
第 9 2 章	トラベルシューティング	99

第93章	エラーメッセージ.....	99
第94章	編集コマンド.....	100
第95章	テキストの調整:.....	104
第96章	ラベル表示のサンプル.....	105
第97章	全体表示のサンプル.....	105
第98章	印刷表示のサンプル.....	106
第99章	ステップ1: 新規作成.....	107
第100章	ステップ2: 追加/ラベルのフォーマット.....	108
第101章	ステップ3: 印刷.....	109
第102章	ステップ4: ラベルファイルの保存.....	110
第103章	ラベルファイルの操作.....	111

第1章 はじめに

産業用ラベルが簡単に作成できるラベルマーク Ver2 は、メニューバーやツールボタン、テキストフォーマット用のバーなど、印字枚数にかかわらずラベル作成に必要な機能が全て最初の画面で行えます。

第1節 新しい機能

Ver2 では、ラベルファイルを作成するのに多くの柔軟性と選択が行えるよう改良されました。以下が追加された機能です。

- **フリーレイアウト画面**—テキスト、バーコード、グラフィック、長方形及び直線を自由にレイアウトすることが可能になりました。
- **編集作業の追加**—ラベルファイルを編集するときにマウスを右クリックすることでポップアップメニューが表示され、編集作業が簡単になりました。
- **バーコード**—一般的なバーコードを選択できるようになりました。
- **MDI インターフェース**—複数のラベルファイルを編集することができるようになりました。
- **ODBC データの取り込み**—他のデータベースからデータを取り込むことが可能になりました。(ODBC のドライバは別途データベースに付属するドライバをインストールする必要があります。)

第2章 ユーザオプション

プログラムフォルダ	C:\Program Files\BradyCorp\LabelMark
ラベルフォルダ	C:\Program Files\BradyCorp\LabelMark
テンプレートフォルダ	C:\Program Files\BradyCorp\LabelMark
フォントの種類	MS Pゴシック
フォントサイズ	12
ラベル間隔	2
パートリスト	マスター
単位	ミリメートル
区切り文字	

第3章 ラベルマークの以前のバージョン

ラベルマークで作成されたファイルはバージョン 2 でも読むことができます。

- 新しい COURIER フォントに変換されます。
- もっとも近いフォントサイズに変更されます。
- オリジナルのパート番号は追加されます。

ラベルマークの DOS バージョン

DOS バージョンで作成されたファイルは開くことが出来ません。

第4章 クイックスタートガイド

ここでは単純なラベルファイルを作成することの過程を通して説明します。詳細な情報に関してはこのガイド以降を参照してください。

[ステップ 1:ラベルの新規作成](#)

[ステップ 2:ラベルの追加と編集](#)

[ステップ 3:ラベルの印刷](#)

[ステップ 4:ラベルの保存](#)

第5章 テクニカルサポート

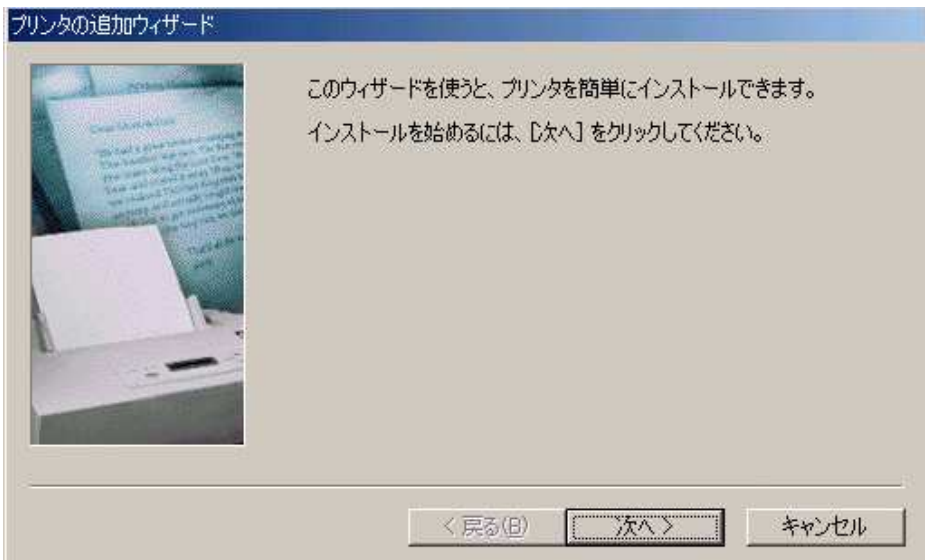
日本ブレイディ（株）ではラベルマーク Ver2 のサポートを下記方法で行っています。

1. 電子メールでの問い合わせ(tech_support@brady.co.jp)
2. Fax にて問い合わせ(042-655-2534)

第6章 プリンタドライバのインストール

ラベルマーク Ver2 には日本ブレイディ熱転写プリンタに関する Windows ドライバが含まれています。(ドットインパクト、インクジェットプリンタ及びレーザープリンタを使用する場合には、それに付随する適切な Windows ドライバをインストールして下さい。)プリンタドライバのインストール:

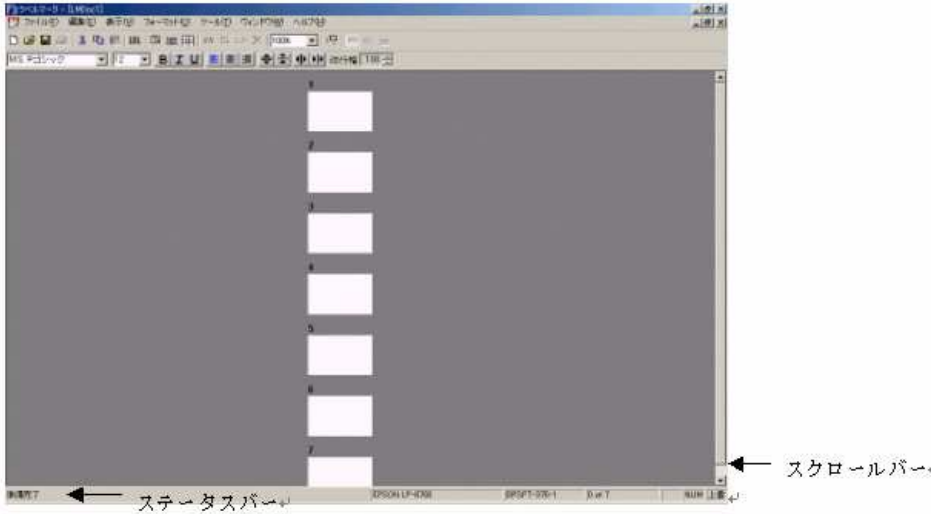
1. スタートメニュー → **設定(S)** → **プリンタ(P)**
2. プリンタのダイアログ、プリンタの追加。
3. ローカルプリンタを選択、ディスク使用を選択。
4. セットアップ CD を PC にセットして下さい。(ここでは D: ドライブと仮定します。)
5. 対応のプリンタドライバが入っている場所を参照してください。
TLS2200 はファイルメニューから直接 **印字** することが可能です。
直接 CD 内の **TLS PC Link Driver Win95/98** にアクセスして下さい。
6. **OK** を選択。
7. 通信に使用する **RS232C** ポートを指定してください。(ここでは、**COM1:** と仮定します。)
8. プリンタに対する名称をつけて下さい。(ここでは、**TLS/PC リンク** と仮定します。)



9. 終了ボタンを選択。

第7章 テキスト編集画面

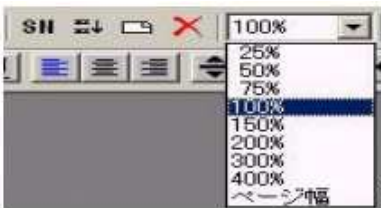
ラベルを新規作成するか開かれる時に表示される画面は編集画面です。編集画面はラベル作成を補助するためにメニューバー、ツールバー、スクロールバー及びステータスバーから構成されています。



ステータスバー—編集画面の下にあるステータスバーは画面のステータス、プリンタ名、パート番号、ラベル数、テンキーの状態及び編集モード(挿入・上書)が表示されます。

スクロール—画面に表示しきれないラベルはスクロールバーを使用して水平方向もしくは垂直方向にスクロールさせて下さい。




拡大・縮小—ラベルマーク Ver2は編集を行いやすいよう拡大・縮小率を変更することが出来ます。ツールバーにあるドロップダウンリストボックスから選択して下さい。



ページ幅を選択すると、自動的にラベルサイズが調整されます。

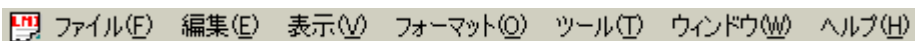
第 8 章 表示

ラベルマーク Ver2 は表示画面としてラベル表示画面、全体表示画面及び印刷表示画面の 3 種類に分類されます。画面の表示方法を変更するのにツールバーで適当なアイコンを選択して下さい。

ツールバー		例
	ラベル表示画面	ラベル表示画面のサンプル
<p>ラベルが 1 枚単位で表示されます。下の画面を使用してラベルを切り替えて下さい。</p>		
	全体表示画面	全体表示画面のサンプル
<p>ラベル番号とラベルとラベル間隔が表示されます。</p>		
	印刷表示画面	印刷表示画面のサンプル
<p>ラベルとラベル間隔が表示されます。</p>		

第9章 メニューバー

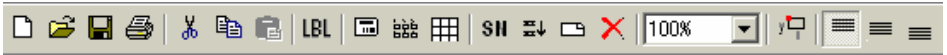
メニューバーを使用して新規作成、開く、フォーマット、保存及び印刷を行うことができます。



それぞれのメニュー項目はサブメニューを含みます。ほとんどのコマンドは、ショートカットして使えるツールバーがあります。また、右クリック及びキーボードショートカットを使用することができます。詳細はこのガイド内に記述されています。

第10章 標準ツールバー

標準ツールバーには次の機能があります。



標準のツールバーはラベルまたは編集のために用意されています。

第11章 その他のツールバー

編集作業中に現れるその他のツールバーがあります。以下にその種類を記述します。

- フリーレイアウトツールバー
- バーコードツールバー
- イメージツールバー
- 直線と矩形ツールバー

その他のツールバーについての詳細な記述はこのガイド以降に記述されています。

第12章 ユーザオプションの変更

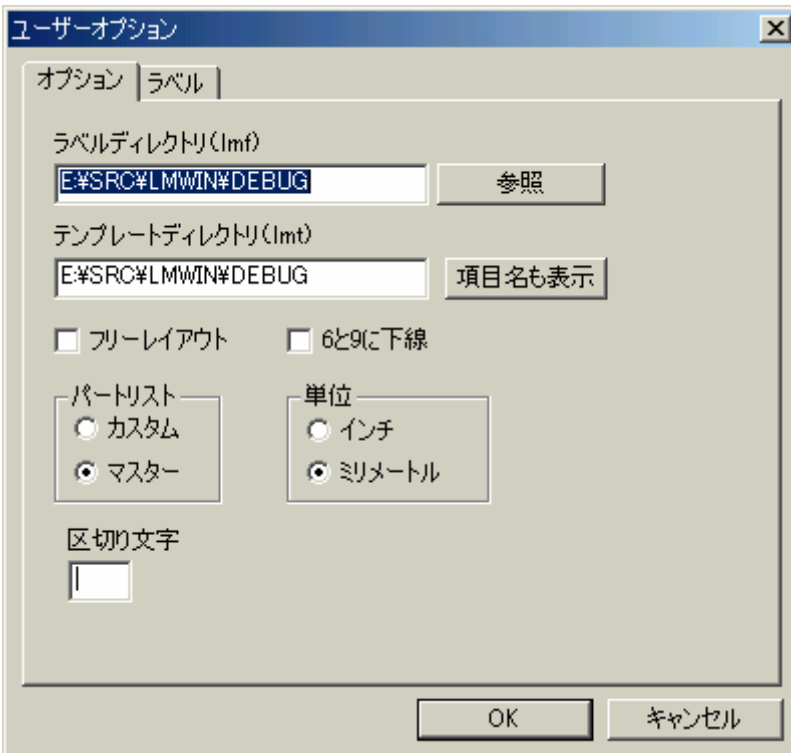
ラベルマーク Ver2 のユーザオプションを変更することが出来ます。

[ユーザオプションの変更](#)

[デフォルトパート番号の選択](#)

第13章 ユーザオプションの変更:

- ツールメニューからユーザオプションを選択してください。ユーザオプションダイアログが表示されます。



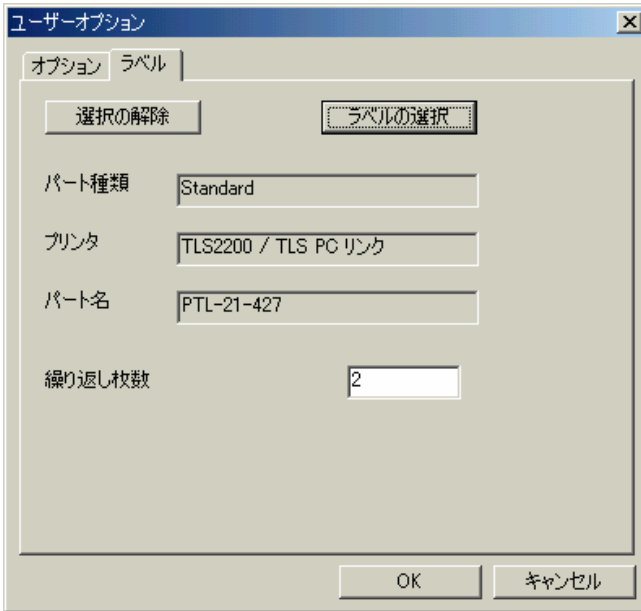
- オプションタブの選択。
[デフォルトパート番号](#)の選択はラベルタブで指定することが出来ます。
- ラベルファイル(.lmf)を保存するデフォルトのフォルダを指定します。

- テンプレート(.lmt)を保存するデフォルトのフォルダを指定します。
- 編集画面を行編集画面かフリーレイアウト画面を選択します。
- 6と9を確実に判断したい場合は下線を引くように選択して下さい。
- もし、新しいラベルを作成するためのパート番号をあらかじめ決定したい場合にはリストボックスでそのパート番号を選択して下さい。
- ラベルの寸法に使用したい単位をインチまたはミリメートルを選択して下さい。
- 必要ならば区切り文字を指定して下さい。
- ユーザオプションを変更した場合には **OK** ボタンを押して画面を終了して下さい。

変更内容がただちに反映されます。

第 1 4 章 デフォルトパート番号の選択:

1. ラベルタブの選択.




2. ラベルタブを選択して下さい。あなたが新しいラベルを作成するためのデフォルトのパート番号を指定する画面が表示されます。[ラベルの新規作成](#)でデフォルトのパート番号を指定できます。

指定できる項目はパートの種類, パート番号, プリンタ名です。

3. 繰り返し枚数を指定したい場合は枚数を入力して下さい。
4. **OK** ボタンを選択。

ただちに変更内容が反映されます。

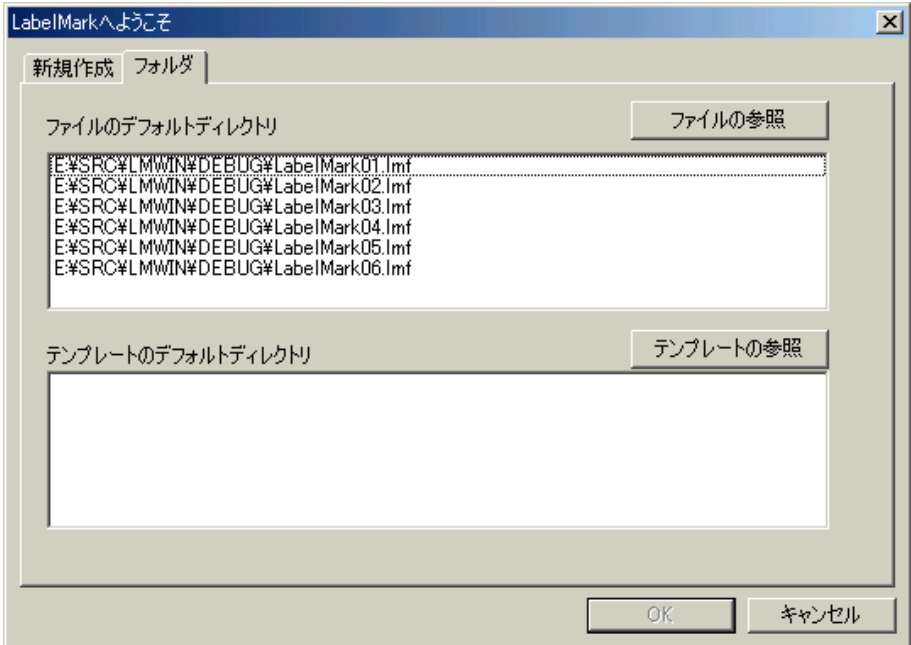
 **ノート:** ラベルパート番号はパートの種類及びプリンタによって適切なパート番号のリストが表示されます。

4. ドロップダウンリストから使用するパート番号を選択して下さい。あらかじめ分かっているなら直接キーボードから入力することも出来ます。タイトルをクリックすると並び変えを行うことが出来ます。
5. OK ボタンを選択。 .

ラベルマーク Ver2 は最大 10,000 枚までのラベルを作成することが出来ます。

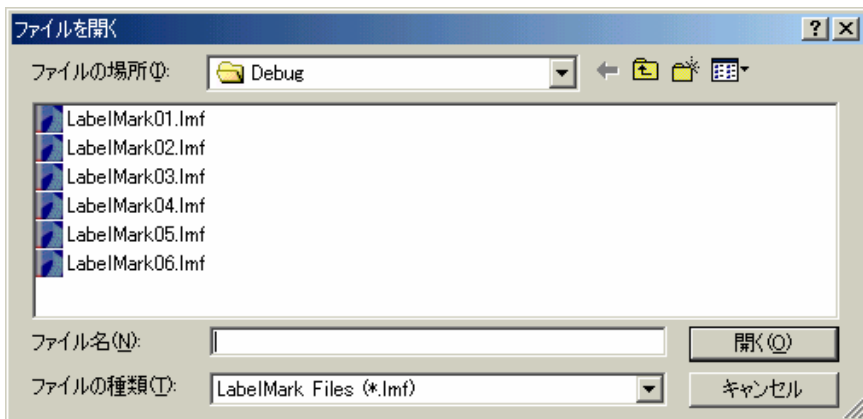
第16章 作成されたラベルを開く

作成されたラベルを開く:



1. 起動時に表示される画面でラベルタブを選択して下さい。

既にアプリケーションを起動している場合は、ファイルメニューから開くを選択して下さい。開くダイアログが表示されます。



2. デフォルトのラベルフォルダが表示されラベルファイルの一覧が表示されます。ファイルを選択するか直接入力して下さい。
3. 開くボタンを選択すると対象のラベルファイルが画面上に読み込まれます。

第 17 章 ラベルの保存

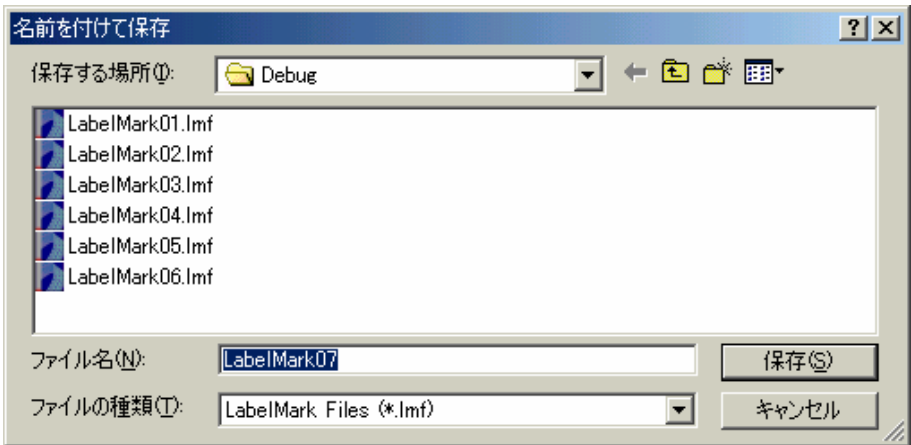
デフォルトで指定されたフォルダに保存を行います。拡張子により 2 種類に分類されます。

拡張子	ファイル種類	フォルダ*
.lmf	ラベルファイル	C:\Program Files\BradyCorp\LabelMark
.lmt	テンプレートファイル	C:\Program Files\BradyCorp\LabelMark

*これはデフォルトの設定です。[ユーザオプションの変更](#)が変更されていた場合はそのフォルダが選択されます。

ラベルの保存

1. ファイルメニューからラベルの保存を選択するかツールバーのラベルの保存を選択するとラベルの保存ダイアログが表示されます。

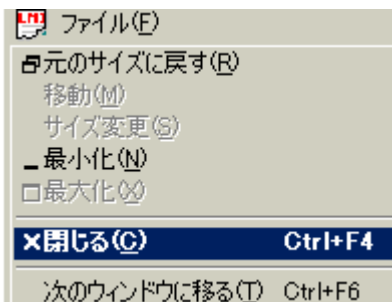


2. ファイル名を入力するか選択します。
ラベルマーク Ver2 ではデフォルトの名称として”LabelMark”に連番(01,02)を付けてファイル名に表示します。
3. 保存ボタンを選択します。



第18章 ラベルを閉じる

ファイルメニューから閉じるを選択すると現在編集中のラベルを閉じることが出来ます。

複数のラベルファイルを編集している場合はラベルファイルを選択して閉じるを実行します。



画面右上のシステムメニュー上から終了またはラベルファイルを閉じることにもできます。

一番上の  を選択すると終了・すぐ下の  を選択するとファイルを閉じます。

第 19 章 複数のラベルを開く

ラベルマーク Ver2 は MDI インターフェイスなので複数のラベルファイルを開いて編集することが可能です。

ラベルの切り替え

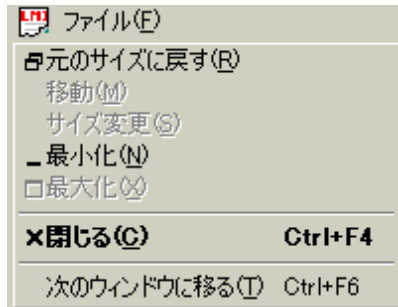
第 20 章 ラベルの切り替え

1. ウィンドウメニューに現在編集集中のラベルファイル一覧が表示されます。



2. ラベルファイルを選択すると編集集中のラベルを切り替えることが出来ます。

DOC メニューにある元のサイズに戻すを実行するとウィンドウサイズを変更することができます。



ウィンドウを重ねて表示またはウィンドウを並べて表示で画面表示を変更することが出来ます。


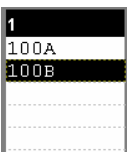
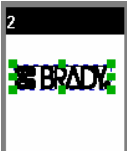

第21章 行編集画面の編集とレイアウト

行編集画面ではテキスト、オブジェクト、ラベル、ラベル範囲でフォーマットを変更できます。ファイル単位でフォーマットを変更することも出来ます。ラベルファイル、ラベル範囲、ラベル、テキスト単位で選択してハイライト表示させることが出来ます。マウスで左クリックしてドラッグするかキーボードで選択してハイライト表示させることが可能です。

選択肢範囲のコピーと貼り付け

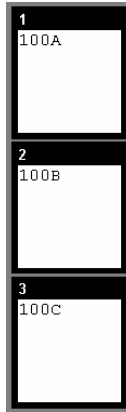
ラベル及びオブジェクト単位でコピーと貼り付けが可能です。選択したテキストを貼り付けることが出来ます。テキストが選択されていると新しいデータで上書きされます。ダブルクリックでコピーして貼り付けることも出来ません。

以下に編集作業の項目を一覧表で記述します。

編集	選ぶ方法
テキスト 文字	 テキストを選択してコピーすればテキストはコピーされます。
テキスト	 1行のテキストを選択するにはダブルクリックしてください。
オブジェクト	 Ctrl キーを押しながらマウスで選択すると複数のオブジェクトを選択することが出来ます。
ラベル表示	 ラベルの外側をダブルクリックするとラベルの中身が全て選択されます。

編集

ラベル範囲選択



選ぶ方法

Shift キーを押しながら選択すると連続したラベル範囲を選択することができます。

別のオブジェクトを選択することで選択範囲は解除されます。

全体のファイル

場合は背景（グレー表示）をダブルクリックするとファイル全体が選択されます。

選択して編集をすることによってさまざまなフォーマットを変更することが可能です。

[編集とフォーマットのテクニック](#)。

第 2 2 章 レイアウトと編集のテクニック

編集のポップアップメニューは以下の 4 種類から構成されます。

- メニュー
- ツールバー
- 右クリックによるポップアップメニュー
- キーボードショートカット

編集コマンドを行うためにはツールバーやキーボードショートカットを使用して下さい。

やり直し/やり直しの取消

ラベルマーク Ver2 では編集時のやり直しを 10 段階まで行うことができます。行編集やフリーレイアウトで使用することが可能です。やり直し/やり直しの取り消しは未編集の状態で使用できません。

第23章 フリーレイアウトと行編集

ラベルマーク Ver2は行編集とフリーレイアウト2つの編集モードを持っています。ユーザオプションのデフォルトは過去のバージョンと合わせるために行編集になっています。ユーザオプションを変更しフリーレイアウトを新規作成時のデフォルトにすることも出来ます。

第24章 行編集

行編集では編集や属性が行単位で行われます。行編集ではテキストしか使用できません。バーコード、グラフィック、直線や矩形を使用したい場合はフリーレイアウトに変更してから行って下さい。

[行編集テキストの作成](#)

第25章 フリーレイアウト

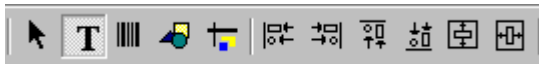
フリーレイアウトでは自由にラベル上でデザインすることが可能です。また、テキスト、グラフィック、バーコード、直線や矩形を作成することが出来ます。また作成したレイアウトはテンプレートとして保存することが出来ます。

第26章 フリーレイアウト用ツールバー




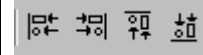
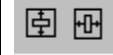
ツールバーのフリーレイアウトを選択するとフリーレイアウト画面に切り替わります。



フリーレイアウトの場合はツールバーが以下のように変更されます。



フリーレイアウトで使用できるツールバーを下記に記述します。

ツールバー	機能	
	<ul style="list-style-type: none"> 選択したオブジェクトの移動とサイズ調整。 	
	<ul style="list-style-type: none"> テキストオブジェクトの作成。 バーコードオブジェクトの作成。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ビットマップの取り込み。 矩形または直線オブジェクトの作成。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 選択オブジェクトの左寄せ。 選択オブジェクトの右寄せ。 選択オブジェクトの上寄せ。 選択オブジェクトの下寄せ。 	<p>Ctrl キーと組み合わせと複数のオブジェクトを選択できます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 選択オブジェクトの垂直中央寄せ。 選択オブジェクトの水平中央寄せ。 	



ノート: 一度フリーレイアウトに切り替えるとやり直しで行編集に戻

せない場合は行編集に切り替えることが出来ません。行編集にしたい場合は行編集で作成されたラベルファイルを開くかユーザオプションからフリーレイアウトのチェックを外して新規作成をして下さい。

フリーレイアウトのテキスト

フリーレイアウトのテキストは自由なテキスト入力を可能にします。またツールバーによってテキスト、バーコード、グラフィック、直線や矩形を配置させることも可能です。それぞれ選択したオブジェクトによって編集で利用できるツールバーをそれぞれ持っています。以降に詳細な情報を記述します。

複数ラベルの編集

ラベルファイル間でコピー及びペーストを行う場合の注意点を記述します。


- ラベルマーク Ver2 では複数ラベルを編集している場合に行編集モードとフリーレイアウトモードでの行編集モードのデータをコピーしてフリーレイアウトに貼り付けは行えますが逆は出来ません。
- 貼り付ける時に現在の位置で入り切らない場合は赤字で表示されます。
 - フォントサイズを小さくして下さい。
 - ラベルの左端にデータを置いて下さい。(X座標=0,Y座標=0)
 - 新しいパート番号に変更するためツールバーから選択して下さい。

LBL

[パート番号の変更](#)を参照して下さい。

- もしラベルを貼り付ける時にクリップボードのデータが入りきらない場合はエラーメッセージが表示されます。


ノート: 行編集モードでは自由な位置に動かすことは出来ません。

 ラベルマーク Ver2 ではクリップボードを共有することが出来ません。他のアプリケーションのデータをラベルマークに切り取り及び貼り付けることは出来ません。

第 27 章 行編集とレイアウトコマンド

行編集とフリーレイアウトで編集に使用できるコマンドは違います。フリーレイアウトの編集コマンドはテキスト、バーコード、グラフィック、直線と矩形で分類されます。

以下に行編集モードで使用できる編集とフォーマットコマンド、フリーレイアウトモードで使用できる編集とフォーマットコマンドの一覧表を記述しています。

 **ノート:** 以降で書かれている編集コマンドは右クリックで表示されるポップアップメニューを選択して行うことも出来ます。

第28章 行編集モードのレイアウトと編集

行編集モードとフリーレイアウト、それぞれによって編集で使用できるコマンドは違ってきます。次の表は行編集モード使用できるコマンドの一覧表です。

編集及びフォーマットコマンド	テキスト	ラベル	選択範囲	ファイル	複数ファイル
カット	✓	✓	✓	✓	✓
コピー	✓	✓	✓	✓	✓
貼り付け	✓	✓	✓	✓	✓
フォント属性 (太字, 斜体, 下線)	✓	✓	✓	✓	
水平位置合わせ (左寄せ, 中央寄せ, 右寄せ)	✓	✓	✓	✓	
垂直位置合わせ (上寄せ, 中央寄せ, 下寄せ)	✓	✓	✓	✓	
ラベルの挿入		✓			
ラベルの削除		✓	✓	✓	
ワイヤマーカ(オン, オフ)		✓	✓	✓	
画面モード (ラベル表示, 全体表示, 印刷表示)				✓	
拡大・縮小率				✓	
全てのラベルを選択				✓	
行を選択		✓			

第29章 フリーレイアウトモードの編集とレイアウト

フリーレイアウトモードではテキスト、バーコード、グラフィック、直線と矩形それぞれのオブジェクト事に使用できる編集コマンドの一覧表です。

編集とレイアウト	オブジェクトの種類				ラベル	選択範囲	ファイル	複数のファイル
	テキスト	バーコード	グラフィック	直線／矩形				
カット	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
コピー	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
貼り付け	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォント属性(太字, 斜体, 下線)	✓	✓			✓	✓	✓	
水平位置合わせ(左寄せ, 中央寄せ, 右寄せ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
オブジェクトの位置合わせ	✓	✓	✓	✓	✓			
ラベルの挿入					✓			
ラベルの削除					✓	✓		
ワイヤーマーカー(オン, オフ)					✓	✓		

編集とレイアウト	オブジェクトの種類				ラベル	選択範囲	ファイル	複数のファイル
	テキスト	バーコード	グラフィック	直線／矩形				
画面モード (ラベル表示, 全体表示, 印刷表示)							✓	
拡大・縮小率							✓	
全てのラベルを選択							✓	
オブジェクトの選択					✓			

第30章 テキストツールバー

テキスト、バーコード、グラフィック、直線と矩形を扱いたい場合は画面をフリーレイアウトモードに変更してから行う必要があります。そうすることにより文字の回転が扱えるようになります。



次の編集コマンドはテキストツールバーで操作することが可能です。

ツールバー	機能／値
	フォントの種類を選択
	フォントサイズの選択
	<ul style="list-style-type: none"> 太字にする。 斜体にする。 下線にする。
	<ul style="list-style-type: none"> 左寄せ。 中央寄せ。 右寄せ。
	<ul style="list-style-type: none"> フォントの高さを拡大する。 フォントの高さ縮小する。
	<ul style="list-style-type: none"> フォント幅を広げる。 フォント幅を縮める。 5%単位。
	改行幅を変更する。単位は : 50% から 200%.

第31章 テキストの作成

テキストの作成:


1. 新規作成 ラベルの新規作成.
2. アスキーデータや ODBC データを取り込むことも可能です。 データの取り込み.
 - ラベルサイズに入りきらないデータの場合は取り込むことが出来ません。
 - 現在の貼り付ける位置で入り切らない場合は画面上で赤く表示されるでしょう。



3. テキストツールバーで修正を行って下さい。 テキストツールバー.

第32章 オブジェクトの操作

フリーレイアウトでオブジェクトが参照される場合はオブジェクトの種類はテキスト、バーコード、グラフィック、直線と矩形で分類されます。

 **ノート:**オブジェクトの操作について記述します。バーコードにおける制限は[バーコードの操作](#)を参照して下さい。

[オブジェクトの選択](#)

[オブジェクトのサイズ変更](#)

[オブジェクトのカットとコピー](#)

[オブジェクトの削除](#)

第33章 オブジェクトの選択

オブジェクトの選択ツールバーを選択することによってオブジェクトの編集が可能になります。

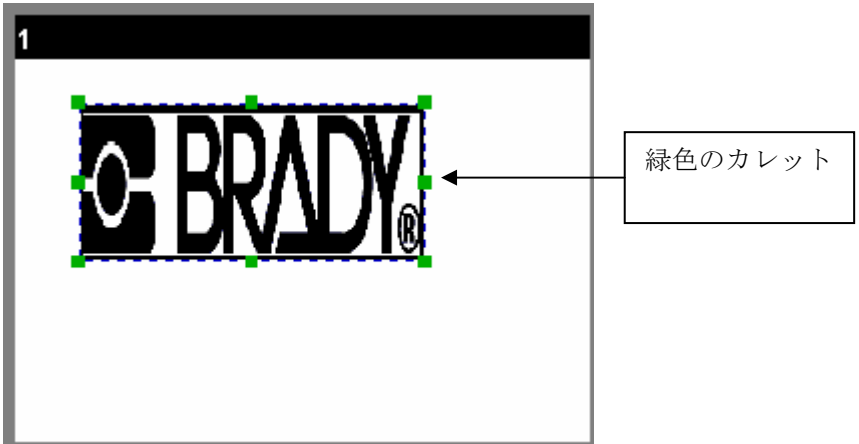


複数のオブジェクトを選択するには **Ctrl** キーを押しながらマウスでクリックすることによって選択することが出来ます。

第34章 オブジェクトサイズの変更

オブジェクトのサイズ変更。

- その他のツールバーで幅及び高さを指定することによってサイズの変更を行えます。
 - オブジェクトが選択されると矩形が緑色で表示されます。それを選択することによってサイズを変更することも出来ます。
1. オブジェクト選択ツールをクリックする。
 2. カレットをドラッグすることでサイズの変更が出来ます。



そのラベルサイズ以上には増やすことは出来ません。

第35章 オブジェクトのカットとコピー

オブジェクトのカットとコピー:

1. ツールバーでオブジェクトの選択をクリックする。
2. 右クリックでカットを選択するとツールバーをクリック。



オブジェクトのコピーは右クリックのコピーを選択するかツールバーをクリック。



3. オブジェクトの貼り付けは右クリックの貼り付けを選択するかツールバーをクリック。



- ラベル上の有効範囲外には移動することは出来ません。
- クリップボードから入りきらないデータを貼り付ける場合にエラーメッセージが表示されます。

次の操作をすることによって合わせる事が可能です。

- フォントサイズを小さくする。
- 左端に合わせる (X座標=0, Y座標=0)
- ラベルパート番号を選択しなおす。

LBL

ラベルパートの変更



ノート: 行編集モードではバーコード、グラフィック、直線や矩形を貼り付けることは出来ません。

第36章 オブジェクトの削除

オブジェクトの削除

1. オブジェクトの選択ツールバーをクリック。
2. 編集メニューの削除、右クリックの削除を選択するかツールバーをクリックします。



クリックボードにコピーしておくことにより他の場所に移動することが出来ます。

削除を選ぶか **Delete** キーを押すことでオブジェクトを削除できます。その後クリップボードの内容を貼り付けることも可能です。

第 37 章 バーコードの操作

ラベルマーク Ver2 は 5 種類のバーコードに対応しています。バーコードを使用する前にフリーレイアウトモードに変更する必要があります。

1. フリーレイアウトツールバーをクリック。



フリーレイアウトモードで使用できるツールバー



2. バーコードツールバーをクリック。



第 38 章 バーコードツールバー

バーコードツールバーをクリックするとその他のツールバーが画面上に現れます。



バーコードツールバーで使用できるコマンド一覧表を記述します。

ツールバー	機能/値
	ヒューマンリーダブルのツールバーに切り替えます。
	使用するバーコードを選択します。 Code 3 of 9 Standard, Code 3 of 9 ASCII, Code 93, Code 128, Interleaved 2 of 5.
	バーコードの X 座標を指定します。アンカーポイントは左上が基準です。
	バーコードの Y 座標をしています。アンカーポイントは左上が基準です。
	細バーの広さを指定します。最小幅は 0.50mm

ツールバー	機能/値
高さ:	バーコードの高さを指定します。最小値は 5.08mm です。バーコードの精度を上げるためにフォントを小さくするか高さを調節して下さい。
	バーコードの向きを指定します。使用できる値は 0 度, 90 度, 180 度, 270 度です。
比率:	バーコードの比率を指定します。値は 10/1 ずつ 2.0 から 3.0 までを指定します。
チェックサム <input type="checkbox"/>	バーコードにチェックサムを含めるか指定します。Code 39 と Interleaved 2 of 5 で指定することが出来ます。

ユーザオプションの指定によってインチ表示かミリメートル表示か指定することが出来ます。 [ユーザオプションの変更](#)





ヒューマンリーダブルツールバーをクリックすることによりツールバーが変更されます。



ヒューマンリーダブルツールバー:



ヒューマンリーダブルを表示するのに使用するツールバーの一覧表を記述します。

ツールバー	機能/値
	バーコードとヒューマンリーダブルのツールバーを切り替える。
	使用するフォントとサイズを指定する。値は4から72でデフォルトは6ポイント。
	太字にします。 斜体にします。 下線にします。
	表示する位置を指定します。値は: 左下、中下、右下、左上、中上、右上です。

バーコードの追加

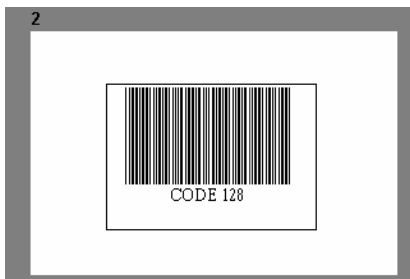
1. 使用したいバーコードの種類を選択して下さい。
2. ヒューマンリーダブルを指定したい場合はヒューマンリーダブルのツールバーに切り替えて下さい。



ヒューマンリーダブルのツールバーに変更されます。

3. 使用したいフォントとサイズを選んでください。
4. 表示する位置を選択して下さい。
5. バーコードの種類によっては指定できないものもあります。バーコードの規格を確認下さい。

- 表示されているバーコードオブジェクトが実際のサイズとなります。



- クリップボードから貼り付けるデータが入りきらないデータの場合はエラーメッセージが表示されます。 [オブジェクトのカットとコピー](#)

バーコードの編集するには[オブジェクトの操作](#)を参照して下さい。
バーコードツールバーの詳細については [バーコードツールバー](#)を参照して下さい。

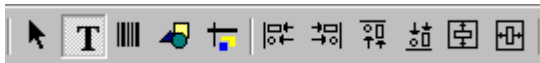
第39章 グラフィックの操作

ラベルマーク Ver2でグラフィックを使用するにはフリーレイアウトモードに変更してから行ってください。対応しているファイル形式はビットマップだけです。(bmp)その後、グラフィックを取り込んで下さい。

1. フリーレイアウトツールバーをクリック。



フリーレイアウトツールバー

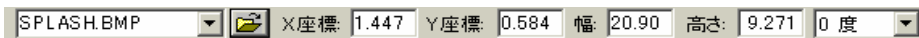


2. グラフィックの場所を指定して下さい。





第40章 グラフィックツールバー

グラフィックを指定するとグラフィックツールバーが表示されます。



グラフィックツールバーで使用できるツールバーの一覧を記述します。

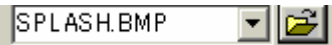
ツールバー	機能/値
	過去に取り込んだビットマップファイルの履歴が表示されます。何も取り込んでなければ何も表示されません。
	グラフィックのある参照用ダイアログを表示します。
X座標: <input type="text" value="1.447"/>	X座標を指定します。
Y座標: <input type="text" value="0.584"/>	Y座標を指定します。
幅: <input type="text" value="20.90"/>	幅を指定します。
高さ: <input type="text" value="9.271"/>	高さを指定します。
<input type="text" value="0度"/>	グラフィックの回転方向をしていします。値は0度,90度,180度,270度が指定できます。

単位はユーザオプションで指定されている単位(インチ/ミリメートル)が使用されます。

[ユーザオプションの変更](#)

グラフィックの追加

1. グラフィックを参照するかファイル名を指定します。対応しているフォーマットはビットマップのみです。

(bmp) 

2. 次に場所をマウスで指定します。
3. クリックするかドラッグした場所に配置されます。

グラフィックオブジェクトの操作は[オブジェクトの操作](#)を参照して下さい。

グラフィックツールバーについては[グラフィックツールバー](#)を参照して下さい

さい。

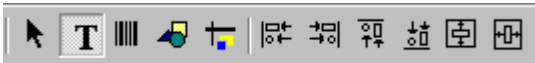
第4 1章 直線と矩形の操作

ラベルマーク Ver2 ではフリーレイアウトモードに限り直線と矩形を使用することが出来ます。

1. フリーレイアウトツールバーをクリックして切り替えて下さい。



フリーレイアウトツールバー



2. 直線と矩形のツールバーをクリックします。



第4 2章 直線と矩形ツールバー

直線とツールバーを選択すると次のツールバーが画面に表示されます。



直線と矩形のツールバーの一覧表を記述します。

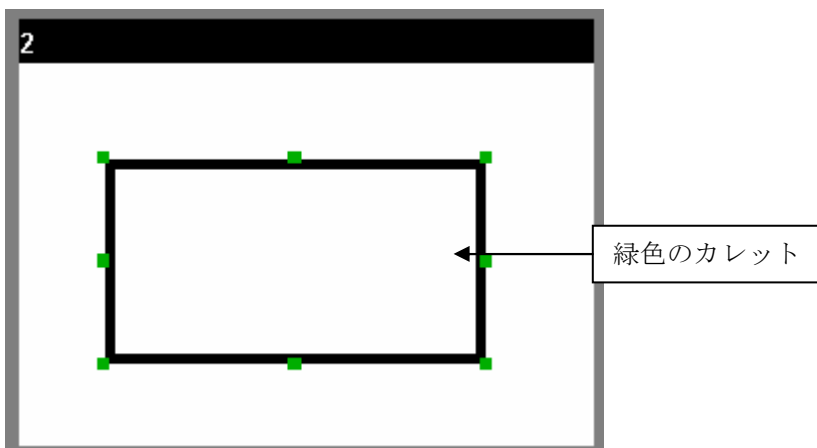
ツールバー	機能/値
<input type="checkbox"/> 線	直線を引くか矩形を作成するか選択します。
X座標: <input type="text" value="0"/>	X座標を指定します。
Y座標: <input type="text" value="0"/>	Y座標を指定します。
幅: <input type="text" value="0"/>	幅を指定します。
高さ: <input type="text" value="0"/>	高さを指定します。
線幅: <input type="text" value="10"/>	線幅を指定します。値は1から50までの値を指定することが出来ます。

単位はユーザオプションで指定する値で表示されます。(インチ/ミリメートル) [ユーザオプションの変更](#)。

直線の追加

1. 直線と矩形のツールバーを選択する。
2. 配置したい場所を指定する。
3. マウスをドラッグして大きさを指定します。

矩形を選択して配置したい場所を指定します。



直線と矩形の操作に関しては[オブジェクトの操作](#)を参照して下さい。

直線と矩形のツールバーの詳細については[直線と矩形ツールバー](#)を参照して下さい。

静的なデータを持たないラベルマーク Ver2 ではテンプレート機能があります。レイアウト情報だけをファイルに保存できたそのレイアウトを開くことが出来ます。テキスト、バーコード、グラフィック、直線と矩形の書式情報として使用することが可能です。これは行編集またはフリーレイアウトの双方で使用することが出来ます。ただし、制約条件についてはそれぞれの章を参照して下さい。




第43章 テンプレートの作成


テンプレートの作成

1. 新規作成で使用するパート番号を決定します。
2. ツールメニューのテンプレートの作成を選択します。ラベル表示画面に切り替わります。画面上にテンプレート用のツールバーが表示されます。



テンプレートツールバーで使用できる一覧表を記述します。

ツールバー	機能/値
	印刷不可にする。 クリックする度にモードが変わります。 印刷不可項目は画面上でグレー表示になります。
	テンプレート上のオブジェクトに対して入力をゆるすか入力を禁止するか指定できます。入力を禁止されている場合にはそのオブジェクトに対しては変更することは出来ません。入力が許可されているのなら編集することが可能です。入力が許可されていないオブジェクトは選択しても緑色のカレットが表示されるでしょう。 テキスト —入力が許可されている場合は配置されたオブジェクトに入力することが可能です。フォントサイズやフォントの属性を変更することが可能です。 バーコード —入力が許可されているオブジェクトはラベルに収まる範囲で属性を変更することが可能です。 グラフィック —入力が許可されているオブジェクトは自動的に枠サイズに従って縮小されて表示されます。
	テンプレートを保存します。


ツールバー	機能/値
	テンプレート作成画面から抜けます。

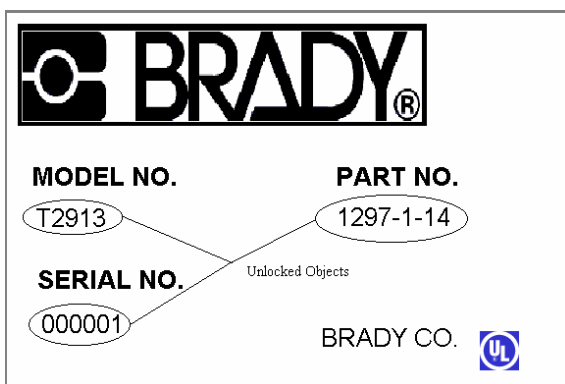
- 作成したテンプレート上の入力不可項目は編集することが出来ません。入力が許可された項目にはデータを直接入力して編集することが可能です。

第44章 テンプレートの保存

テンプレートの保存

- テンプレートを作成した後に画面左下にあるテンプレートの保存ツールバーをクリックして下さい。テンプレートとして拡張子(lmt)で保存することが出来ます。
- 名前を付けるか既にファイルを選択して下さい。ユーザオプションで指定されているテンプレートフォルダに保存することが出来ます。

 **ノート:** 作成したテンプレートを保存する前に画面左下のテンプレートの終了をクリックした場合は作成したテンプレートは捨てられるので注意が必要です。



サンプル


このテンプレートでは MODEL NO と PART NO と SERIAL NO 以外は全て入力不可項目に設定されています。

テンプレートを使用するためには以下の点について考える必要があります。

- 入力が必要な項目だけを入力許可しておく必要があります。

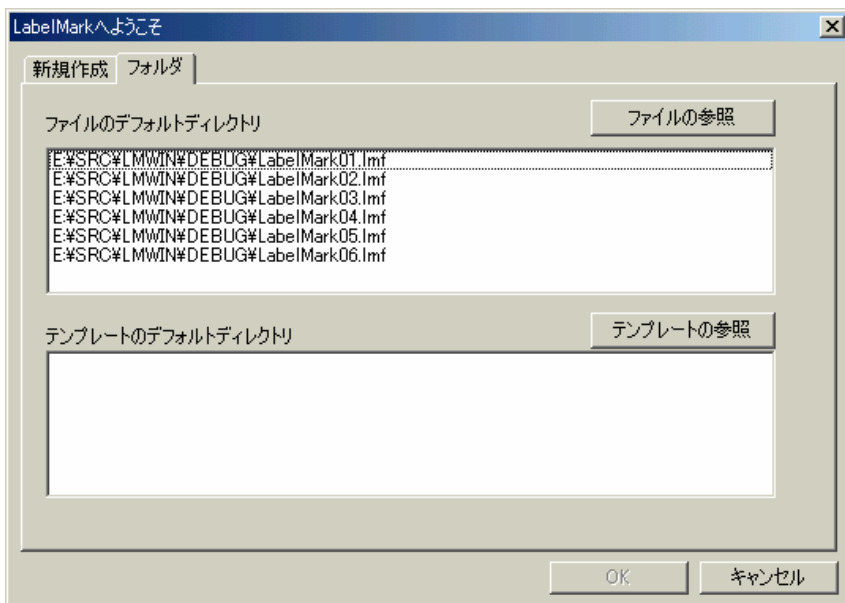
- テンプレートへファイルを取り込みを行うと入力可能なオブジェクトに取り込まれます。
- 取り込み手順 ファイルの取り込みを行った時の順序は行編集モードまたはフリーレイアウトモードによって変わります。
 - 行編集モードではテンプレート上の順番は上から下へ取り込まれていきます。
 - フリーレイアウトモードではテンプレート上に外部データを取り込んでいく順番は入力可能項目順です。
- 一旦、テンプレートを作成して保存すると項目の追加や項目を移動することが出来ません。
- 保存されたテンプレートを編集することは出来ません。テンプレートを修正したい場合は新規に作り直す必要があります。はじめからやり直すのを防ぐにはテンプレートを確認しながら作業を行うことをお勧めします。

1. いくつかのラベルを作成します。レイアウトをデザインして行って下さい。
2. ラベルを印刷します。
3. レイアウトを確認して必要なら変更を行って下さい。
4. テンプレートを作成して下さい。(ツールメニューからテンプレートの作成を選択)
5. 入力属性と印字属性を設定して下さい。
6. テンプレートを保存してください。(.lmt).

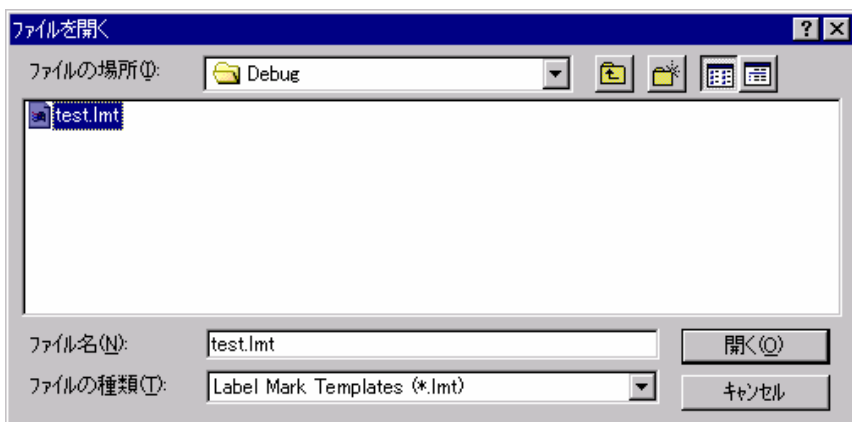
 **ノート:** テンプレートを保存するときに同時にラベルファイル(.lmf)を保存することが出来ます。テンプレートは編集が出来ないので変更を確認したい場合はラベルファイルで保存することをお勧めします。

第45章 テンプレートの作成:

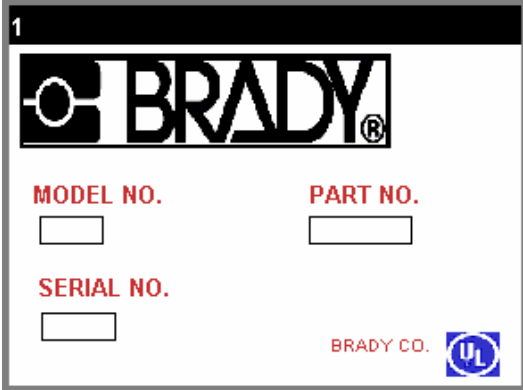
1. LabelMark へようこそその画面でフォルダタブを選択します。



もし、既にアプリケーションを起動している場合はファイルメニューからテンプレートを開くを選択することでテンプレートを開くダイアログが表示されます。



- もし、既にテンプレートを保存していた場合はデフォルトのディレクトリまたは参照してテンプレートを指定して下さい。
- 開くボタンをクリックすると新しいラベルファイルはテンプレートを元に作成されます。
- 入力可能項目にテキストを入力して下さい。
 - 次のラベルを移動してください。テンプレートが表示されるのを確認して下さい。
 - エンターキーを押して次の入力可能項目に移動することが出来ます。テキストとバーコードの入力可能項目はフォントサイズを小さくすることと文字の属性を変更することは可能です。（太字、斜体、下線）
- ラベルファイルを保存して下さい。（ファイルメニューから上書き保存または名前を付けて保存を選択すると保存ダイアログが表示されます。）




The image shows a screenshot of a Brady label template. At the top left, there is a small black box with the number '1'. Below this is the Brady logo, which consists of a stylized 'B' with a circle inside, followed by the word 'BRADY' in a bold, sans-serif font with a registered trademark symbol. Below the logo, there are three input fields for text entry. The first two are labeled 'MODEL NO.' and 'PART NO.' in red, and the third is labeled 'SERIAL NO.' in red. At the bottom right, there is the text 'BRADY CO.' in red and a blue square logo with a white 'UL' inside.

サンプル: 評価用テンプレート

第46章 カウンタ

ラベルマークのカウンタはラベルを作成及び編集中に自動的に連番を生成します。

 **ノート:**カウンタの画面が表示されると現在のカーソル位置からカウンタの対象となります。

カウンタ:

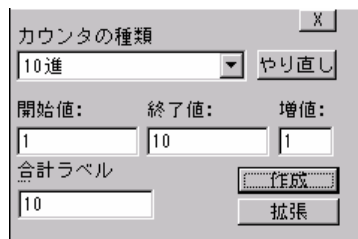
1. カウンタツールバーをクリック

SH

カウンタ画面が表示されます。

2. カウンタ設定を入力して下さい。

カウンタの種類—種類をドロップダウンリストから選択して下さい。カウンタの種類はテーブルを参照して下さい。



開始値—カウンタとして使用する最初の値を入力して下さい。

終了値—カウンタの最後値の値を入力して下さい。増加でも減少でもどちらでも構いません。

増値—増加または減少の量を指定して下さい。

合計ラベル数—入力された値からカウンタの合計数が自動的に計算されます。ただし、ラベル数は10,000を超えて作成することが出来ません。

3. 作成ボタンをクリックするとカウンタが自動生成されます。やり直しボタンを押すと生成されたカウンタをやり直すことが出来ます。

第47章 拡張カウンタ

拡張カウンタで複数のカウンタを組み合わせ使用することが出来ます。

1. 最初のカウンタを作成するために1から5を作業してください。
2. 拡張ボタンをクリックするとカウンタの表示が変わります。

カウンタの種類

16進

開始値: 終了値: 増値:

0 1

合計ラベル数: 作成

0 拡張

開始文字:

11

優先度 #: 追加

1 挿入

削除

#	種類	開...	終...	ス...	ラ
1	10進	1	10	1	
1	16進	1	10	1	

合計ラベル数: 160

3. 優先度#のドロップリストから順番を指定して下さい。使用できる優先度は1から10です。優先度の低い順にカウンタが変化します。なお、値が空の場合は優先度はC(定数)になります。
4. 追加ボタンをクリック

5. 以上連結したいカウンタを1から4の手順に従って繰り返して下さい。

#	種類	開始値	終了値	ス.
1	10進	1	10	1

合計ラベル数:

画面の最上位行はカウンタの項目名です。

表示されるデータは拡張カウンタで使用される内容です。

合計ラベル数 は作成されるカウンタの総合計が表示されます。

6. 作成ボタンで拡張カウンタがラベル上に生成されます。

第48章 カウンタの編集

カウンタで使用できる操作は以下の通りです。

- | | |
|------|---|
| やり直し | やり直し ボタンを押すことによってラベル上に配置したカウンタを取り消すことが出来ます。 |
| 挿入 | 挿入ボタンを押すと今選択されている場所にカウンタを追加することが可能です。 |
| 削除 | 削除ボタンを押すと現在選択しているカウンタを削除します。 <Shift>+Click を使用すると範囲指定して一括削除を行えます。 |

第49章 カウンタの種類

カウンタの種類は10進数、16進数、8進数、カスタム、英字(A-Z)及び英数字(0-9;A-Z)を使用することが出来ます。

カウンタの種類	機能					
10進数	10進数(0-9)カウンタ。					
16進数	16進数カウンタ。					
	0	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	A	B
	C	D	E	F	10	11
	12	13	14	15	16	17
	18	19	1A	1B	1C	1D
	1E	1F	20	21	22	23
	24	25	...			
8進数	8進数カウンタ。					
	0	1	2	3	4	5
	6	7	10	11	12	13
	14	15	16	17	20	21
	22	23	24	25	...	
カスタム	カスタムは繰り上がり条件を明確に指定する必要があります。					
英字 A-Z	英字カウンタ (26進数)					
英数字 0-9; A-Z	英数字カウンタ (36進数)					

第50章 ワイヤマーカ

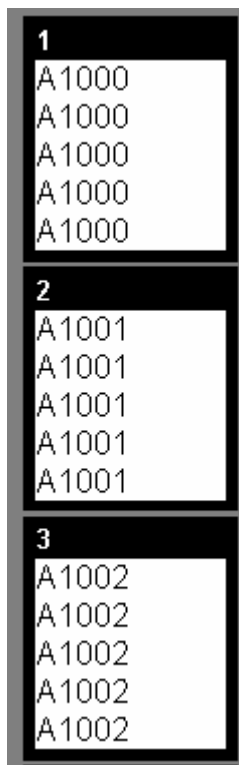
ラベルマーク Ver2 のワイヤマーカは行編集モードで入力された文字を全ての行に複写します。

ワイヤマーカラベルの作成

1. ラベルを選択するか、範囲選択してからワイヤマーカを使用します。[行編集テキストの作成](#)
2. ワイヤマーカツールバーをクリックして下さい。



ラベルの範囲を指定してからワイヤマーカツールバーを選択してデータを入力することも出来ます。



第5 1章 パッチパネルと 110 ブロックラベル

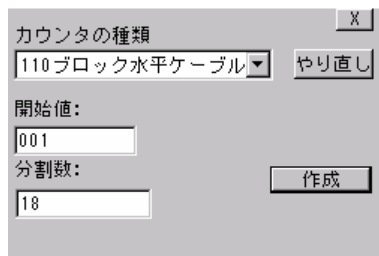
ラベルマーク Ver2は 110ブロック、ビッグスブロック及びパッチパネルラベルを作成することが出来ます。

ラベルマーク Ver2は 110 水平カウンタと 110 垂直カウンタを使用することが可能です。

ラベルの種類	プリンタの種類	パート番号
110 ブロック	レーザー	LAT-177 3 Pair LAT-177 4 Pair LAT-177 5 Pair LAT-177 Blank
	インクジェット	JET-177 3 Pair JET-177 4 Pair JET-177 5 Pair JET-177 Blank
	ドットインパクト	DAT-177 3 Pair DAT-177 4 Pair DAT-177 5 Pair DAT-177 Blank
ビッグスブロック (オーディオ機器)	レーザーのみ	LAT-178 3 Pair LAT-178 4 Pair LAT-178 5 Pair LAT-178 Blank
パッチパネル	レーザー	LAT-43 4 Port LAT-43 Blank LAT-44 6 Port LAT-44 Blank
	ドットインパクト	DAT-191 4 Port DAT-191 Blank DAT-192 6 Port DAT-192 Blank

第5 2章 110 ブロック水平カウンタ

1. LabelMark へようこそ画面からパートの種類から Standard を選択します。
2. プリンタの種類はレーザーを選択します。
3. パート番号から LAT-177 4Pair を選択して OK ボタンをクリックします。分割されたラベルが自動で作成されます。
4. 110 ブロック水平カウンタを選択。カウンタの詳細については[カウンタ](#)を参照して下さい。
 - 110 ブロック水平カウンタを選択します。
 - 開始値に 001 を入力します。
 - 分割数に 18 を入力します。
 - 作成ボタンを押します。



カウンタの種類

110 ブロック水平ケーブル

やり直し

開始値:

001

分割数:

18

作成

サンプルを実行すると 110 ブロック水平カウンタが生成されます。

001	002	003	004	005	006
007	008	009	010	011	012

第5 3章 110 ブロック垂直カウンタ

110 ブロック垂直カウンタを使用するには 4pair のパート番号を選択します。次にカウンタの種類で 110 ブロック垂直カウンタを選択します。次にサンプルを示します。

1	4	8	12	16	20	24
2	2	32	36	40	44	48
5	8					

第54章 全ラベル

単独または範囲選択のデータを一齐に上下及び左右に反転したりコピーを行うための機能について説明します。

- この操作は行編集モードだけ使用できます。
- 左右反転を行うためには区切り文字が必要になります。

区切り文字

区切り文字は行の中に含まれている必要があります。サンプルでは**123|456**を**456|123**に左右反転を行う方法が記述されています。

[ユーザオプションの変更](#)で区切り文字を変更することが出来ます。

- デフォルトの設定では”|”が区切り文字となっています。
- ラベルのデザインで使用しない文字を区切り文字と使用するほうがいいでしょう。
- 上下反転では区切り文字は使用しません。ラベル内で上下が反転します。

左右反転の実行

1. 左右反転したい場所に区切り文字を挿入します。
2. ラベルを選択、範囲選択してから操作を行います。編集は[行編集画面の編集とレイアウト](#)を参照して下さい
3. ツールメニューの全ラベルを選択します。

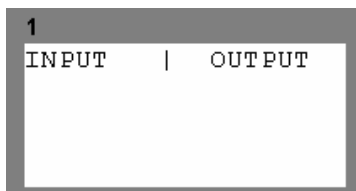
区切り文字の削除—ツールメニューの全ラベル、区切り文字の削除で使した区切り文字を削除することが出来ます。

第55章 全ラベル使用例

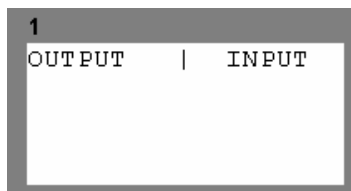
全ラベルの使用例を記述します。

左右反転—ラベルの左右を入れ替えます。

操作前

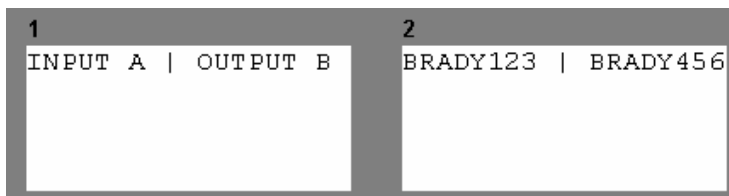


操作後

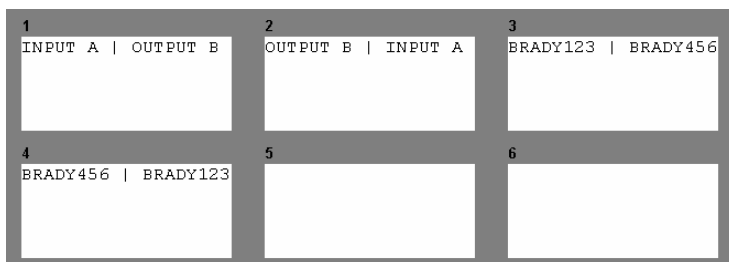


左右反転して全コピー—現在あるデータを左右反転して全てコピーします。

操作前



操作後



上下反転—ラベル内のデータを上下反転します。

操作前

1
INPUT A
OUTPUT B

操作後

1
OUTPUT B
INPUT A

上下反転して全コピー—現在あるデータを上下反転して全てコピーします。

操作前

1	2
INPUT A	BRADY123
OUTPUT B	BRADY456

操作後

1	2	3
INPUT A	OUTPUT B	BRADY123
OUTPUT B	INPUT A	BRADY456
4	5	6
BRADY456		
BRADY123		

第56章 ラベルパートの変更

ラベルマーク Ver2では新規作成で他のパート番号を選択して変更することが出来ます。標準のツールバーをクリックして変更することも可能です。

LBL

第1節 ラベルパートの変更

一時的にパート番号を変更する場合や新規にパート番号を作成することも可能です。また現在の設定変更を行うことも出来ます。

1. ラベルパートの変更ツールバーをクリックします。

LBL

2. パート番号を作る画面が表示されます。

元に戻す 更新 X

プレビュー 保存 削除

Standard

レーザー

ELAT-7

元に戻す	更新	X
プレビュー	保存	削除
Standard		
レーザー		
ELAT-7		
1ページのラベル数		
桁		行
7		20
余白		
左余白		上余白
10.0076		14.5034
ラベル間隔		
水平方向		垂直方向
2.4892		0
ラベルサイズ		
幅		高さ
24.9936		13.0048
印刷範囲		
幅		高さ
24.9936		13.0048
X座標		Y座標
0		0

使用するプリンタの種類を選択して下さい。またパートの種類も選択して下さい。

3. 以下のボタンをクリックして下さい。

プレビュー—ラベルパートのプレビュー。

元に戻す—変更した設定をキャンセルします。ただし、一度保存を行った場合はその状態に戻ります。

更新—新しい設定で更新します。保存することで以降はその値になります。

保存 ボタンを押すとパートリストに追加されます。[ラベルパートの新規作成](#)を参照して下さい。

第57章 ラベルパートの変更:

ラベルパートの書式設定を変更することが可能です。単位はユーザオプションで指定されているインチまたはミリメートルで表示されます。

1. ラベルパートの変更ツールバーをクリックします。

LBL

ラベルパート変更画面が表示されます。

2. 使用するプリンタの種類、パートの種類及びパート番号を選択して下さい。
3. 変更したい内容を修正して下さい。

1 ページのラベル数—ラベルの構成情報を指定します。

桁	ページにおける桁数。
行	ページにおける行数。 ドットインパクト、TLS2200/TLS2200PC リンクは1枚になります。また、レーザー、インクジェットは用紙サイズに合う数を入力して下さい。

余白—余白を指定して下さい。

左余白	左余白を入力して下さい。
上余白	上余白を入力して下さい。デフォルトは0です。

ラベル間隔—ラベルの間を指定して下さい。

水平	水平方向のラベル間隔を指定して下さい。
垂直	垂直方向のラベル間隔を指定して下さい。

ラベルサイズ—物理的なラベルサイズを指定して下さい。

幅	ラベル幅を指定して下さい。
高さ	ラベルの高さを指定して下さい。

印字領域—印字可能領域を指定して下さい。

幅	印刷可能な幅。
高さ	印刷可能な高さ。
X座標	左側からのオフセット。
Y座標	上側からのオフセット。

サンプル

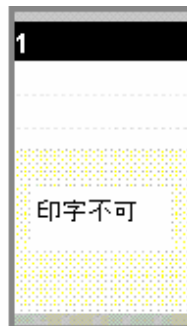
標準ダイカットラベル

ラベルサイズ
12.7mm
印字可能領域
12.7mm



ラミネートラベル

印字可能領域
12.7mm
ラベルサイズ
37.41mm



4. 以下のボタンをクリックして下さい。

プレビュー—ラベルパートのプレビュー画面が表示されます。

元に戻す—変更をキャンセルして元の設定に戻します。ただし、更新及び保存を行った場合はその時点の設定に戻ります。

更新—ラベルファイルに新しいパートの設定を適用します。この値はラベルを保存するときによいっしょに保存されます。

第58章 ラベルパートの新規作成

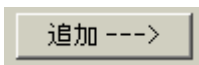
現在のパートを修正以外に新しいパート番号を追加することも出来ます。

1. 変更については [ラベルパートの変更](#) を参照して下さい。
2. 保存をクリックすると修正されたパート番号の名前を変えるように警告されるでしょう。（エラーメッセージが表示されます。）

追加されたパート番号はマスターからすぐに使用できるようになります。

最小のサイズは 2.54mm×2.54mm、最大のサイズは 812.8mm×812.8mm です。

2. マスターパートリストからパート番号を選択し追加ボタンを押します。

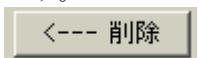


- 3.

連続して選択する場合は<Shift>+クリックで、個別に選択する場合は<Ctrl>+クリックで選択して下さい。

4. OK ボタンを押します。

カスタムパートリストから削除したい場合は選択後削除ボタンを押します。



連続して選択する場合は<Shift>+クリックで、個別に選択する場合は<Ctrl>+クリックで選択して下さい。

5. OK ボタンを押す。

ラベルマーク Ver2はいかなる種類の Windows プリンタを使用することが出来ます。詳細はラベルを印刷するときに表示されます。



ノート: サンプルのプリンタダイアログは使用する Windows ドライバによって多少相違点があります。サンプルはブレイディの TLS PC リンクの画面です。

注意: ハードウェア及び Windows プリンタドライバによって物理的に印字可能領域は決定されます。従って上記の制約については該当のメーカーに問い合わせをお願いします。それが原因で印刷不良を起こす場合はブレイディで開発を行っていないためサポートできない場合があります。

第6 1章 印刷コマンドの使用

印刷

プリンタプロパティ

印刷範囲の指定

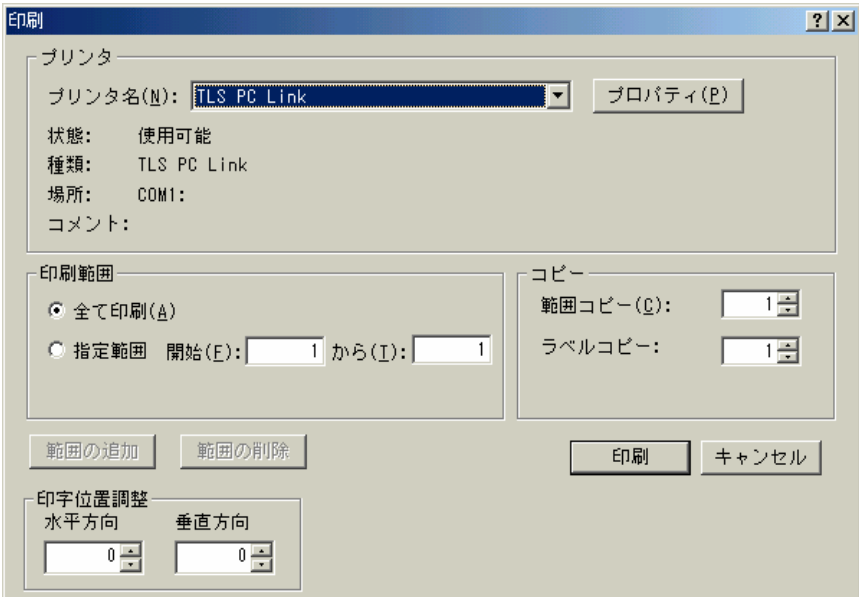
ラベルをデフォルトプリンタに関連づける

Terminal Block/ Continuous ラベルの印刷


Two Sided Sleeve ラベルの印刷

第6 2章 印刷

1. ファイルメニューから印刷を選択すると印刷ダイアログが表示されます。



2. 使用するプリンタを選択して下さい。

 **ノート:** TLS2200 を使用したい場合はファイルメニューの TLS2200 印刷を選択して下さい。

使用するプリンタはラベルを保存するときと一緒に保存されます。

3. **印刷範囲**で範囲を指定して印刷を行うことも可能です。デフォルトは全て印刷になっています。
4. **コピー枚数**を指定することが出来ます。デフォルトは1枚です。

範囲コピー—印刷範囲で指定されている部分のコピー枚数です。1から5が指定されている場合に100と指定すると1から5が繰り返し100セット（500枚）印字されます。

#1 #2 #3 #4 #5 #1 #2 #3 #4 #5

ラベルコピー—1から3まで印刷範囲が設定されているときに2と指定すると指定枚数分コピーして印刷されます。

#1 label #1 label #2 label #2 label #3 label #3 label

5. 印刷ボタンをクリック。

他のオプション設定を下に記します。

印字位置調整—水平方向と垂直方向に印字位置を補正することが可能です。デフォルトはどちらも0が設定されています。単位はユーザオプションで指定されているインチかミリメートルで表示されます。この設定はラベルに保存するときと一緒に保存されます。

第63章 プリンタプロパティ

プリンタの設定を手動で変更したい場合に使用します。

プリンタプロパティ:

1. プロパティボタンをクリック。
2. プリンタの詳細はプリンタドライバーのヘルプを参照してください。

第64章 範囲の追加と削除

印刷範囲の追加と削除は範囲の追加ボタンをクリックすると範囲選択のダイアログが表示されます。

1. 範囲の追加ボタンを押すと入力で指定された印刷範囲が追加されます。

範囲選択

リアルNo.	ページ数	ページ番号	ラベルのコピー	選択範囲のコピー	合計ラベル
	1	3	1	1	3

2. 入力されたデータに従って総合計数が自動的に計算され登録されます。

印刷範囲

全て印刷(A)

指定範囲 開始(E): から(I):

コピー

範囲コピー(C):

ラベルコピー:

範囲の追加 範囲の削除 印刷 キャンセル

最大で10個まで登録できます。印刷の順番は登録順で行われます。

範囲の削除

1. 登録されたデータの行を選択します。
2. 範囲の削除ボタンを押します。

第65章 ラベルをデフォルトプリンタに関連づける

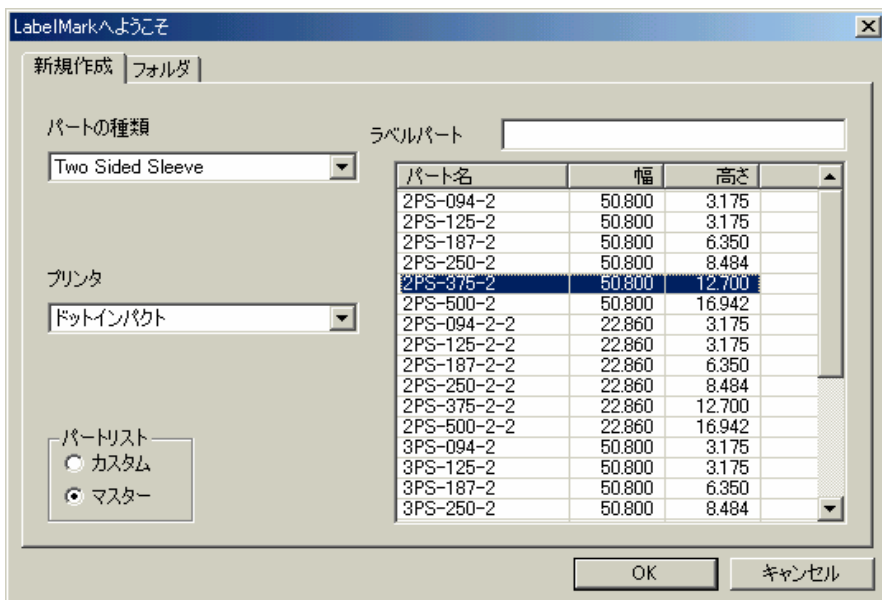
ラベルマーク Ver2 ではプリンタ名と属性がラベルファイルに保存されます。ラベルファイルを開いた時にプリンタがシステムに存在しない場合は以下の手順でプリンタを割り当てる必要があります。

1. ファイルメニューからラベルをデフォルトプリンタに関連づけるを選択してPC上のデフォルトプリンタをラベルに関連づけて下さい。
2. 印刷ダイアログを表示してラベルファイルの使用プリンタがデフォルトプリンタになっているのを確認して下さい。印刷の詳細は[印刷](#)を参照して下さい。

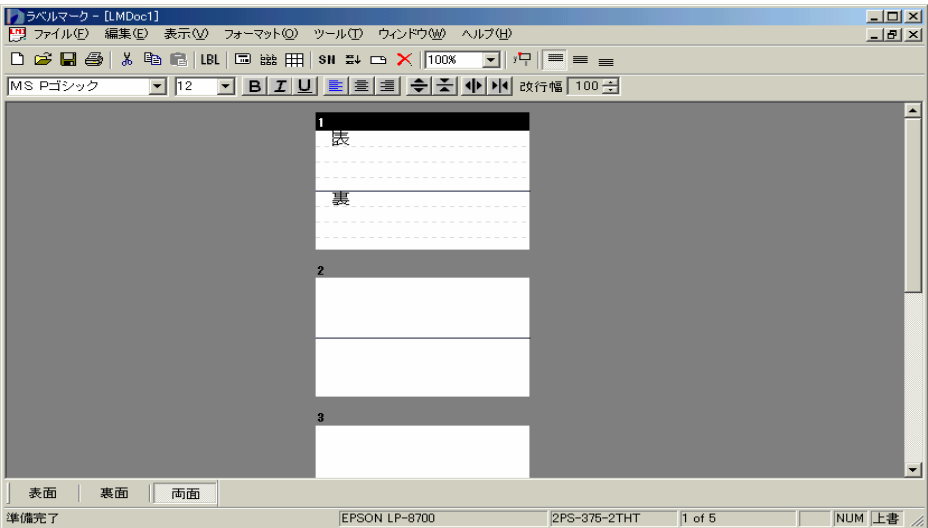
第67章 Two Sided Sleeve ラベルの印刷

Two Sided Sleeve ラベルの印刷:

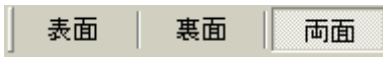
1. LabelMark へようこそ画面か新規作成で Two Sided Sleeve を選択します。



2. Two Sided Sleeve で選択できるプリンタはドットインパクトです。
3. ラベルパートを選択して下さい。
4. OK ボタンをクリックして下さい。



テキスト編集画面の左下に面を切り替えるツールバーが表示されます。

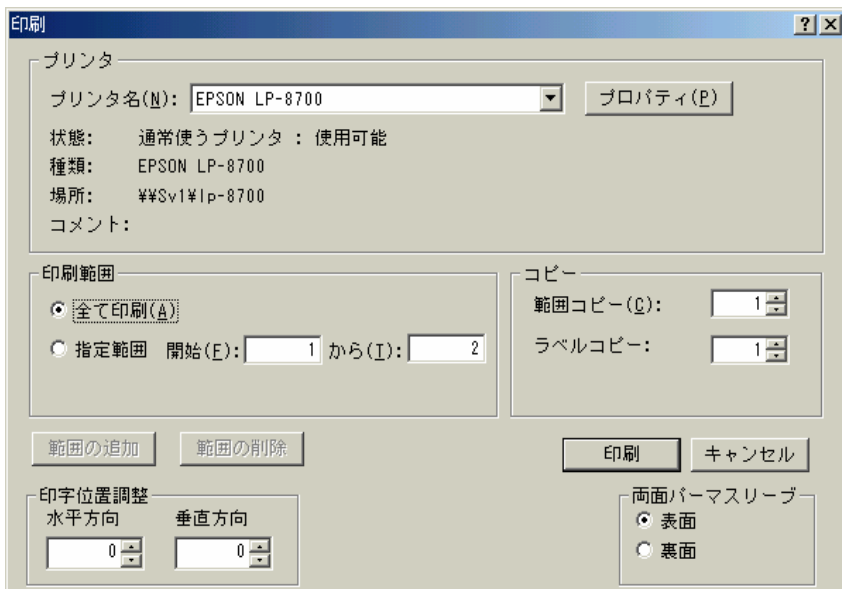


Two sided sleeve の画面は表面、裏面、両面を選択することが可能です。

1. ファイルメニューの印刷を選択(印刷ツールバー)。



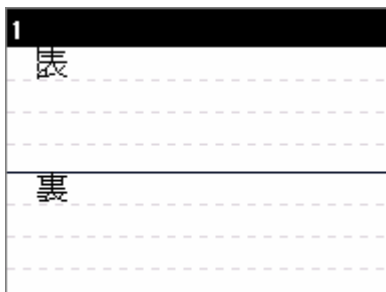
印刷ダイアログが表示されます。



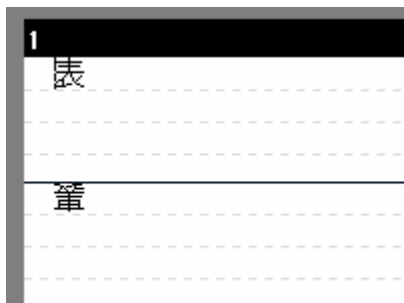
2. 印刷する方向を選択して下さい。
3. 印刷ボタンをクリック。
4. 選択した面の印刷が終了したらプリンタにセットされている用紙を裏返してセットして下さい。

標準で印刷を行った場合と反転して印刷を行った場合のサンプルを次に表示します。

標準



反転



標準—標準の場合は裏面も左から右へ印刷されます。

反転—反転の場合は裏面は文字が 180 度回転され右から左へ印刷されます。

第 6 8 章 アスキーデータの読込

ラベルマーク Ver2 は区切り文字で分割された可変長のアスキーデータをレコードとして取り込むことが出来ます。

第 6 9 章 可変長テキストファイル

可変長テキストファイルは区切り文字で分けられるデータファイルです。それぞれのライン間がカンマ区切りの文字で分割され 1 レコードは改行で分割されています。下の例は区切り文字がカンマで分割されているデータです。

ライン 1, ライン 2, ライン 3... (改行)

ライン 1, ライン 2, ライン 3... (改行)

ライン 1, ライン 2, ライン 3... (改行)

第70章 アスキーデータの読込:

ラベルマーク Ver2 はアスキーデータをラベル上に取り込むことができます。もし取り込むデータがラベルに入りきらない場合はデータは赤で表示されます。変更は次の操作を行います。

- フォントサイズを小さくする。
- テキストの文字間を小さくする。
- テキストを左端に寄せる。
- 使用するラベルパートを変更する。ラベルパート変更のツールバーで行います。

LBL

詳細は[ラベルパートの変更](#)を参照して下さい。

行編集モードの取り込み。

行編集モードでは取り込むデータが順番に上から下へ取り込まれます。

フリーレイアウトモードの取り込み

テキスト—ラベルに1レコード単位に取り込みます。

テキスト/バーコード—作成された順番で取り込みます。

フリーレイアウトでは取り込む順番を変更することが可能です。

1. フリーレイアウトモードを選択。
2. ラベル上でテキスト及びバーコードを作成して配置したい場所を決めて下さい。取り込まれたデータは適切な大きさに自動で変更されます。(テンプレートファイルにデータを取り込みたい場合はテンプレートのデータ取り込みを参照して下さい。
3. データを取り込んで下さい。
4. データの長さによってはデータが重なることもあります。ラベルの範囲にあわないデータは表示されないか赤色で表示されます。

テキストとバーコードにはデータを取り込むことができます。バーコードに不適切なデータを読み込ませた場合は赤色で表示されます。不要なコードを編集で取り除くことによって正当なバーコードになります。不要なバーコードは正常なコードにしない限り印刷はされません。

テンプレートへの取り込み

テンプレートにデータを取り込むには入力可能な属性にしておかなければいけません。取り込まれる順番は行編集またはフリーレイアウトによって異なります。

- 行編集モードでは上から下の順に取り込まれます。
- フリーレイアウトモードでは入力可能な項目順に取り込まれます。
- 入力可能項目はデータが入りきらない場合は赤色で表示されます。

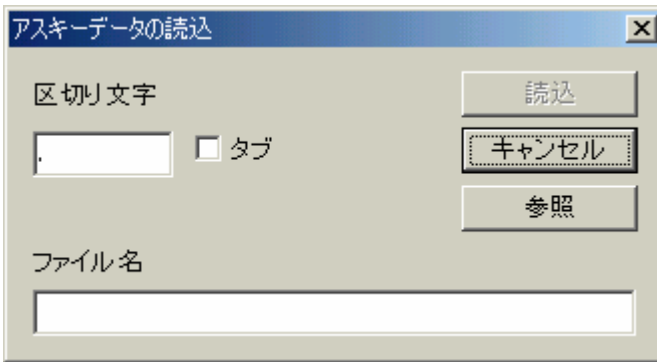
第7 1章 データの読込手順

アスキーデータの取り込み手順を記述します。詳しい内容は [アスキーデータの読込](#) を参照して行編集モードとフリーレイアウトモードを参照してください。

[アスキーデータの読込](#):

第7 2章 アスキーデータの読込:

1. ファイルメニューからアスキーデータの読み込みを選択するとアスキーデータの取り込みダイアログが表示されます。




2. 区切り文字を入力して下さい。タブをクリックするとタブ区切りとなります。
3. ファイル名を入力するか参照ボタンを押して下さい。
4. 参照ボタンを押すとアスキーデータ取り込みダイアログが表示されるのでファイルを選択して下さい。
5. 読み込みボタンをクリックしてデータをラベルに取り込んで下さい。取り込めるようにフォントサイズ等を編集して下さい。 [アスキーデータをラベルに読込](#) を参照して下さい。

第73章 ODBC データの読込

ラベルマーク Ver2 は ODBC データベースからデータを取り込むことができます。

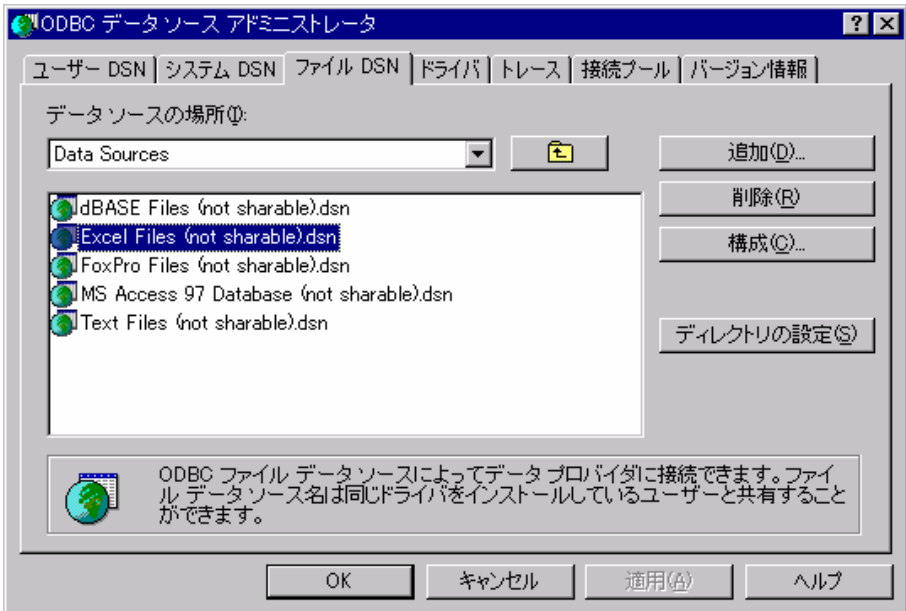
ODBC データベースから抽出条件を指定して取り込むことができます。条件の詳細については[抽出条件](#)を参照して下さい。(あくまでも参照であってデータベースの更新は出来ません)

第74章 ODBC データベースを開く

 ノート:ここでは Excel で作成したデータを取り込む手順を記述します。

ODBC データベースを開く:

1. ファイルメニューから ODBC データの取り込みを選択するとデータソースの選択ダイアログが表示されます。



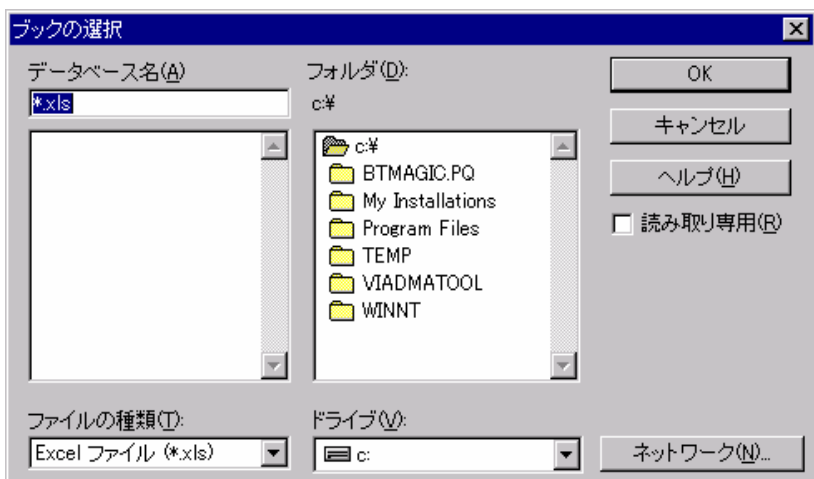
2. ファイル DSN を選択して Excel ファイルを選択して下さい。必要ならばマシンデータソースのタブを選択して下さい。新規に作成する場合は 新しいデータソースの作成 を参照して下さい。

ファイル DSN—登録されているデータソースを選択して OK ボタンを押してください。

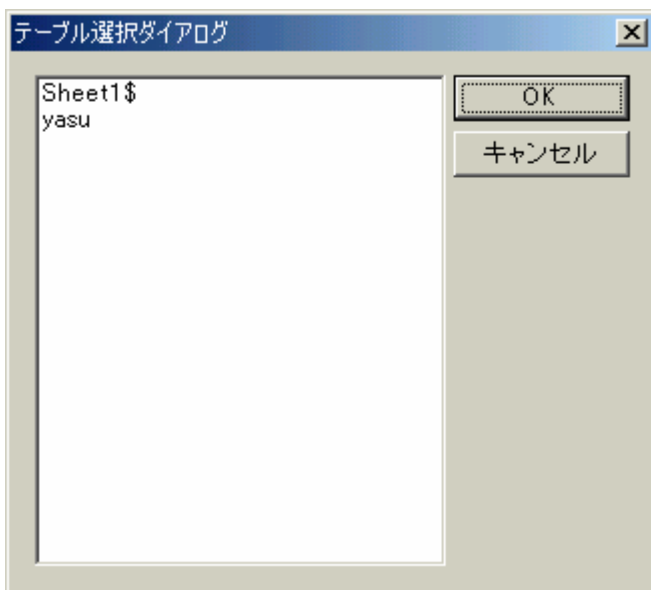
マシンデータソース—マシンデータソースから登録されているデータソースを選択して OK ボタンを押して下さい。

詳細が知りたい場合はヘルプボタンをおして参照して下さい。

3. OK ボタンを押すと参照ダイアログが表示されます。



4. 取り込みたい xls ファイルを選択して下さい。
5. OK ボタンを押すとそのファイル上に登録されているテーブル選択ダイアログが表示されます。



6. 使用したいテーブルを選択して下さい。
7. OK ボタンを押すと項目選択ダイアログが表示されます。

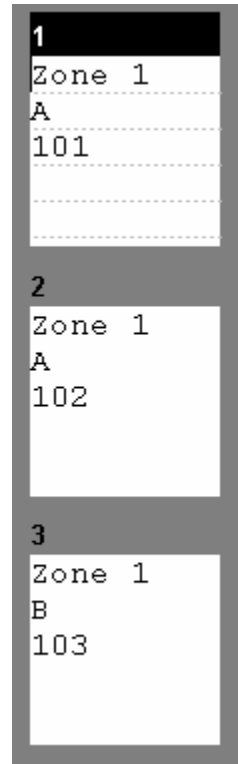
取り込んだ後の画面を見たい場合は以下の操作後に抽出ダイアログを最小化するか移動して下さい。

8. 取り込みツールバーをクリック



データがラベルファイルに取り込まれました。

これは行編集モードでの操作例です。アスキーデータの詳細については[アスキーデータの読込](#)を参照して下さい。



第 7 5 章 抽出条件

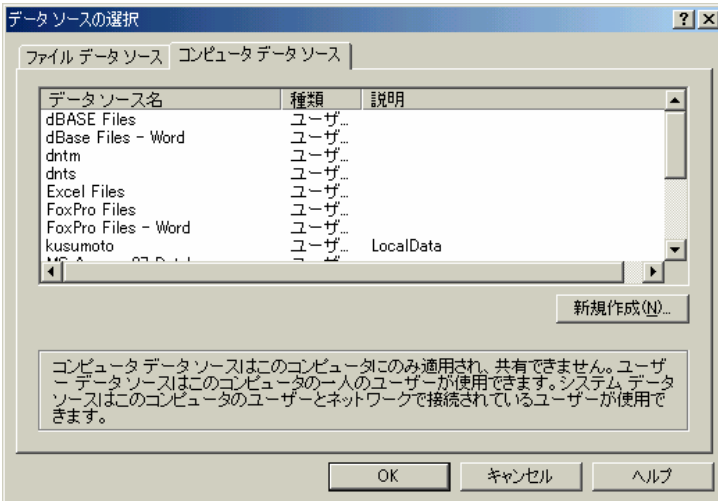
データベースの項目について条件を指定することができます。抽出条件は項目と定数が使用できます。



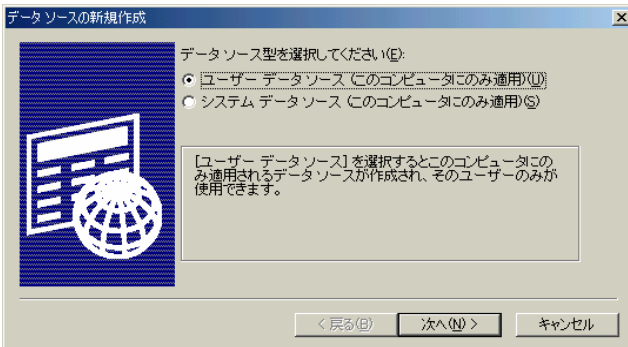
1. [ODBC データベースを開く](#) の手順 1 から 6 まで行って下さい。
2. 項目選択ダイアログでフィルターボタンを押すと ODBC 条件ダイアログが表示されます。記述は SQL のクエリーに基づいています。

第76章 新しいデータソースの作成

1. コンピュータデータソースのタブを選択。



2. コンピュータデータソースのタブを選択。
3. 新規作成をクリック。

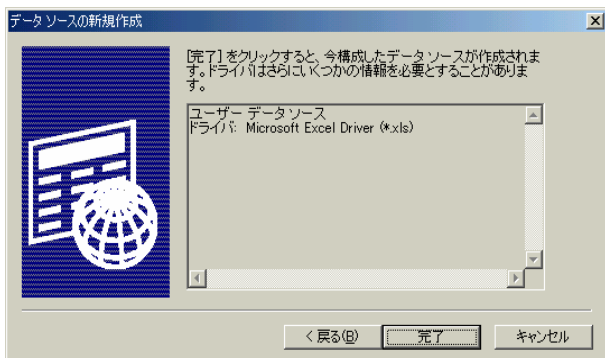


4. ユーザーデータソースまたはシステムデータソースに追加するか選んで下さい。
5. 次へボタンをクリック。

6. 使用するデータベースドライバを選択して下さい。

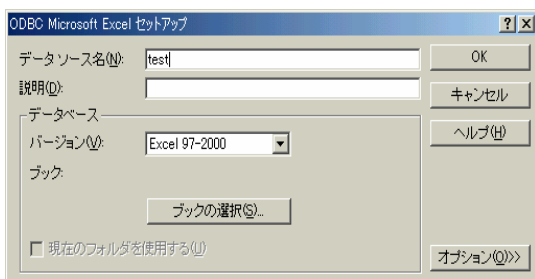


7. 次へボタンをクリック



8. 完了ボタンをクリック

9. 作成したデータソース名を入力して下さい。データベースの種類はサンプルでは Excel です。



10. OK ボタンをクリック。

ここでエラーメッセージ等が表示されてうまく機能しない場合は当社に問い合わせるか ODBC ドライバ供給元に問い合わせを行って下さい。

第77章 トラブルシューティング

現象	注意	措置
プリンタに印刷ができない。	COMポートの設定が正しくない。	COMポートの設定をPCとプリンタ側で同じにして下さい。

第78章 エラーメッセージ










エラーメッセージ	注意	措置
ラベルがありません。 (TLS2200と TLS PC/リンク)	プリンタに新しいラベルをセットしてください。	新しいラベルをセットして下さい
リボンがありません。 (TLS2200と TLS PC/リンク)	プリンタに新しいリボンをセットして下さい。	新しいリボンカートリッジをセットして下さい。
COM1に書き込みが出来ません。	電源が入っていません。	電源を入れてください。
	プリンタとPCの接続を確認して下さい。	接続をしておして下さい
クリップボードのデータが大きすぎます。	オブジェクトはラベルのサイズより大きい。	データサイズを変更して下さい。 <u>合わないデータの貼り付け</u>









第79章 編集コマンド

ラベルマーク Ver2 におけるメニュー、標準ツールバー、キーボードショートカットの一覧表です。

フリーレイアウトでの詳細は[フリーレイアウトツールバー](#)を参照して下さい。

メニュー	コマンド	ツールバー	キーボードショートカット
<u>ファイル(&F)</u>			<Alt>+ F
	新規作成		<Ctrl> N +
	開く		<Ctrl> O +
	閉じる		
	上書き保存		<Ctrl> S +
	名前を付けて保存		<Ctrl> A +
	印刷		<Ctrl> P +
	プリンタ設定		
	現在のラベルをデフォルトプリンタ		
	TLS2200 印刷		
	ODBC データの取り込み		<Ctrl> D +
	アスキーデータの取り込み		<Ctrl> T +
	Open Template		
編集			<Alt>+ E

メニュー	コマンド		ツール バー	キーボ ードショ ートカ ット
	やり直し			<Ctrl> Z +
	やり直しの取消			<Ctrl> Y +
	カット			<Ctrl> X +
	コピー			<Ctrl> C +
	貼り付け			<Ctrl> V +
	ラベルの挿入			
	ラベルの削除			
	テキスト内の文字を選 択			
	ラベル内の全選択			
表示				<Alt>+ V
	ラベル表示			
	全体表示			
	印刷表示			
フォーマット				<Alt>+ O
	フォント 属性	太字		<Ctrl> B +
		斜体		<Ctrl> I +

メニュー	コマンド		ツール バー	キーボー ドショ ートカ ット
		下線		<Ctrl> U +
	水平位置 調整	左寄せ		
		中央寄せ		
		右寄せ		
	ワイヤマーク			
	垂直位置 調整	上寄せ		
		中央寄せ		
		下寄せ		
ツール				<Alt>+ T
	テンプレートの作成			
	カスタムパートリスト			
	ユーザオプション			
	全ラベル	左右反転		
		左右反 転して コピー		
		上下反 転		
		上下反 転して コピー		

メニュー	コマンド		ツール バー	キーボ ードショ ートカッ ト
		区切り 文字の 削除		
ウィンドウ				<Alt>+ W
	新しいウィンドウを開く			
	ウィンドウを重ねて表示			
	ウィンドウを並べて表示			
ヘルプ				<Alt>+ H
	バージョン			
	ヘルプ			F1

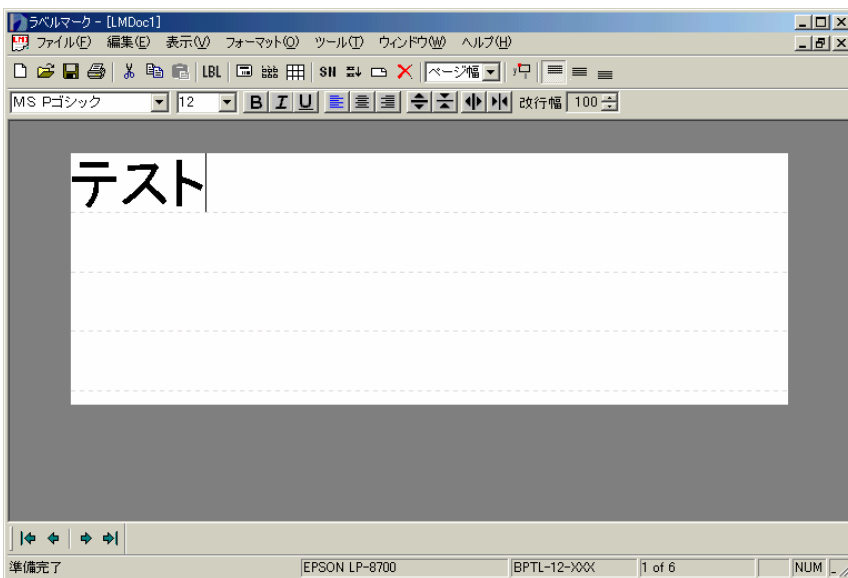
第80章 テキストの調整:

- ・フォントサイズの調整
- ・座標の変更 (X 座標=0, Y 座標=0)
- ・ラベルパートの変更 (ラベルパートツールバー)

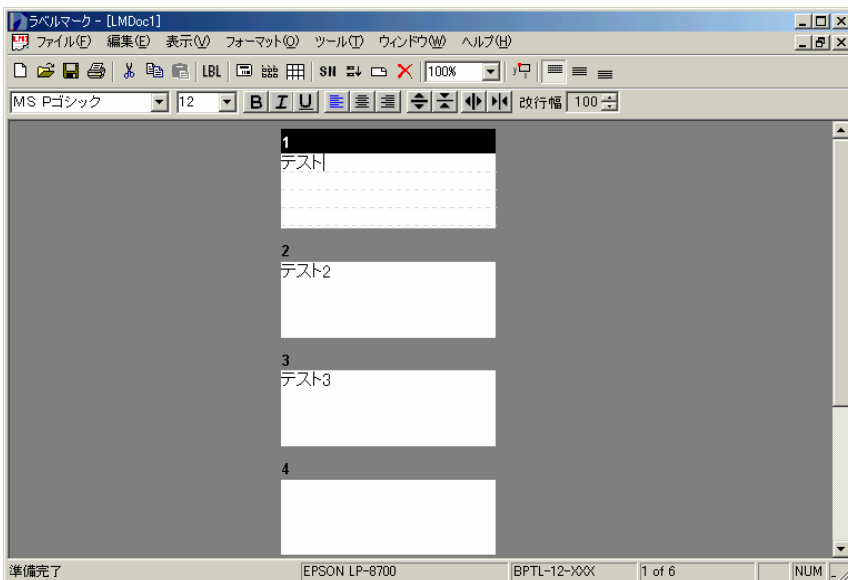
LBL

詳細は [ラベルパート番号の変更](#) を参照して下さい。

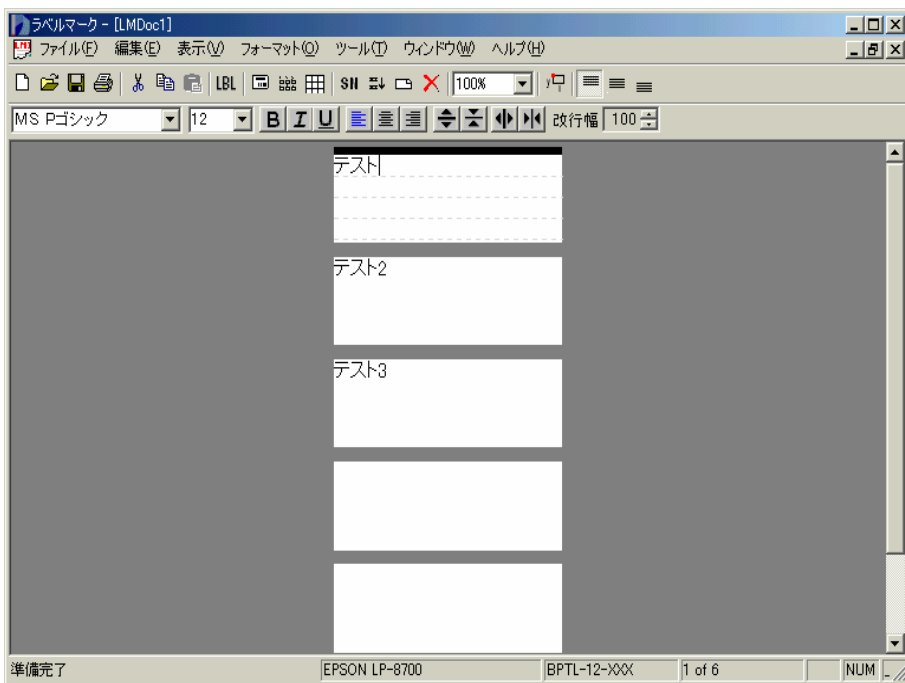
第81章 ラベル表示のサンプル



第82章 全体表示のサンプル

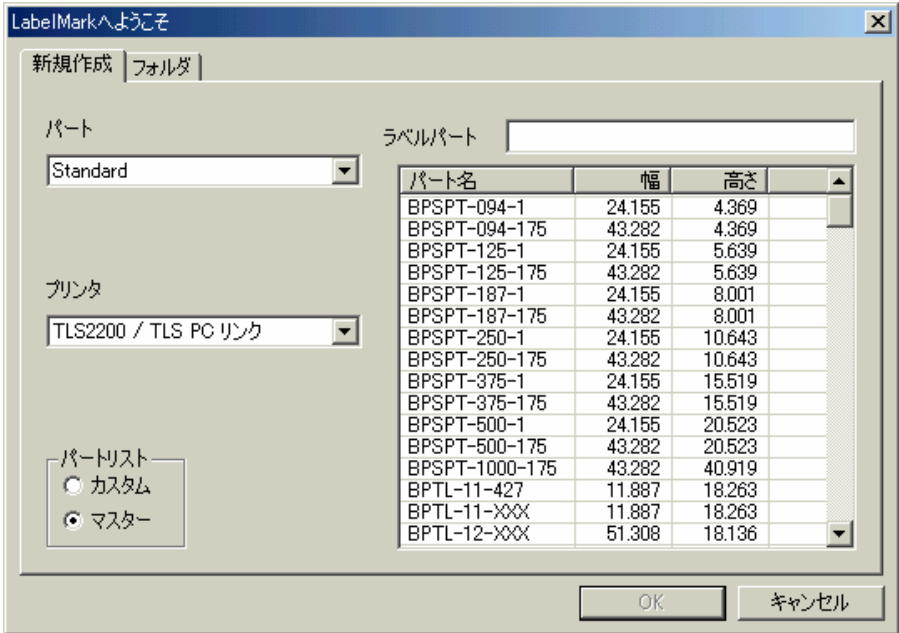



第 8 3 章 印刷表示のサンプル



第84章 ステップ1: 新規作成

ラベルマークを起動すると LabelMark へようこそ のダイアログが表示されます。既に起動されている場合は、ファイルメニューから新規作成か ツールバーから選択する 事によってダイアログが表示されます。

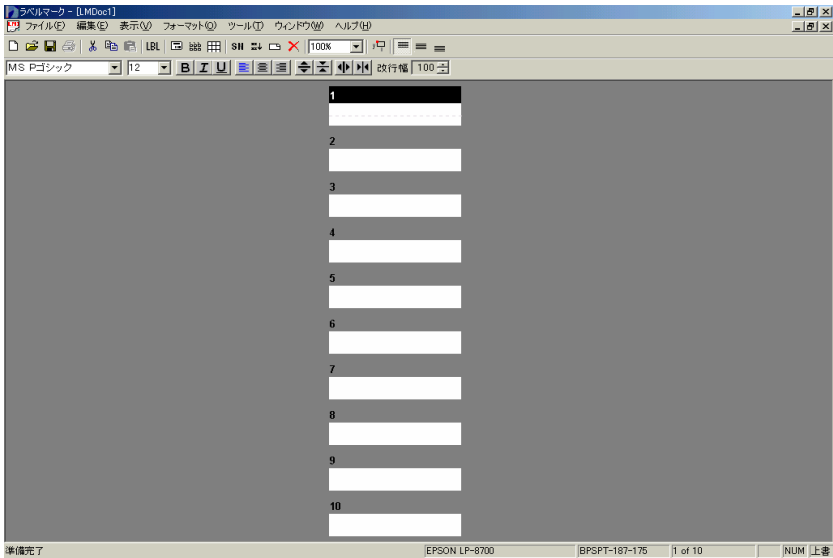


- 新規作成のタブを選択。
- 使用するパートの種類を選択。
- 使用するプリンタを選択する。
-  **ノート:**パートリストはデフォルトはマスターです。カスタムを選択するとあなたが作成したカスタムリストが表示されます。[カスタムパートリストの作成](#)。
- ラベルパートリストを選択
- それを選択するか直接入力すると該当のラベルパートまで自動スクロールします。
- OK ボタンをクリック。選択されたラベルパートが画面上に表示されます。

第85章 ステップ2: 追加/ラベルのフォーマット

- ラベルを選択する。

ラベルマークが行編集モード。



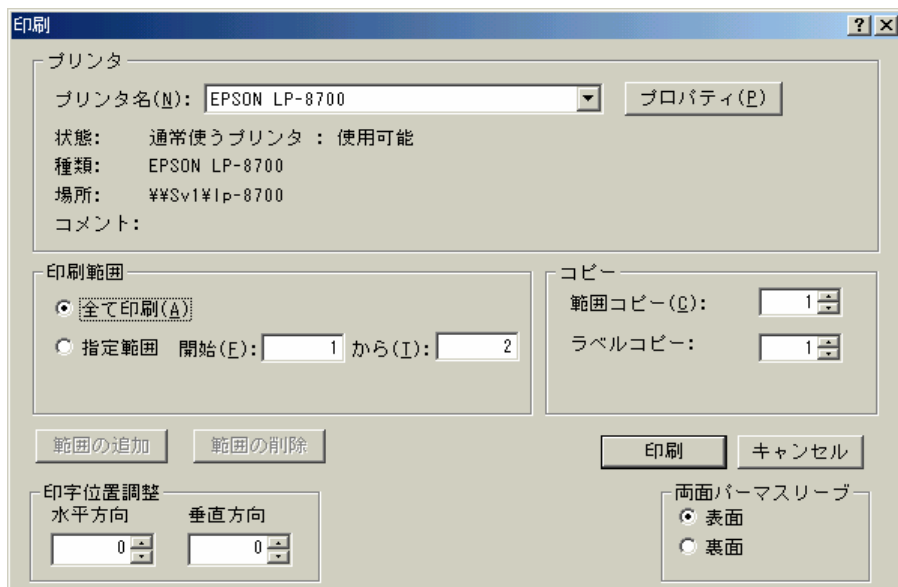
バーコード、グラフィック、直線と矩形を配置したい場合はフリーレイアウトに画面モードを変更します。詳細は[フリーレイアウトと行編集](#)を参照して下さい。

- 編集命令を操作してラベルのレイアウトを変更して下さい。

編集操作はメニュー、ツールバー、右クリックによるポップアップメニュー、キーボードショートカットを使用して行います。詳細に関しては[レイアウトと編集のテクニック](#)を参照して下さい。

第86章 ステップ3: 印刷

- ファイルメニューから印刷を選択すると印刷ダイアログが表示されます。



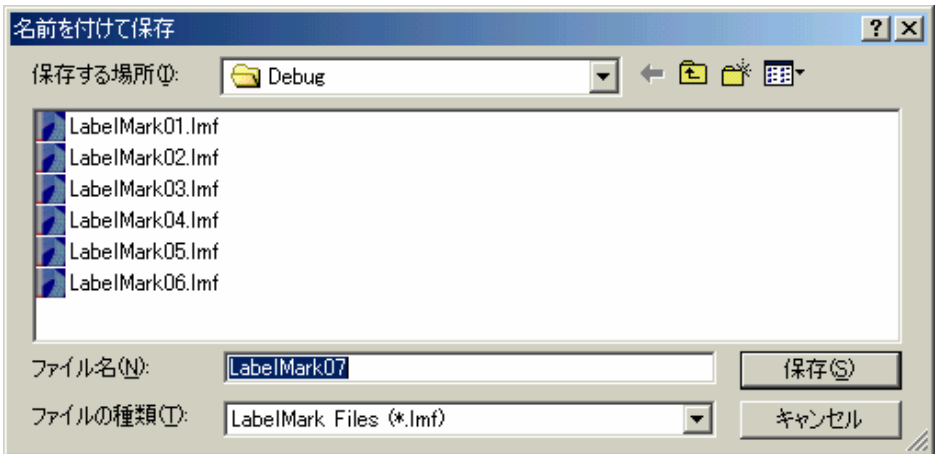
- 印刷するプリンタを選択することも可能です。省略するとデフォルトのプリンタに印刷が行われます。

ツールバーからも指定することが可能です。



第 8 7 章 ステップ 4:ラベルファイルの保存

- ファイルメニューから上書き保存またはツールバーの保存を選択します。



- 名前を付けて保存のダイアログが表示されます。ファイル名とファイルの種類を指定して保存を選択します。

デフォルトのラベルフォルダがファイルの種類(lmf)が表示されます。名前を付けて保存

プリンタや属性の変更は保存することでラベルファイル上に反映されます。

第 8 8 章 ラベルファイルの操作

ラベルファイルの作成

ラベルファイルを開く

ラベルファイルを保存

ラベルファイルを閉じる

複数ファイルを開く